

令和5年度 第1回四街道市生涯学習審議会

日時:令和5年6月27日(火) 10時～

場所:四街道市保健センター3階 第2会議室

次 第

1. 会長挨拶
2. 市長挨拶
3. 諮 問
4. 議 題
 - (1) 第4次四街道市生涯学習推進計画策定方針(案)について …資料No.1
 - (2) 第4次四街道市生涯学習推進計画に取り入れるべき課題について …資料No.2
 - (3) 第4次四街道市生涯学習推進計画の新たな試みについて …資料No.3
 - (4) 第4次四街道市生涯学習推進計画に向けて …資料No.4
5. その他

【参考資料】

- No.1 今後の生涯学習・社会教育の振興方策(重点事項)について 文部科学省
- No.2 千葉県生涯学習推進方針の概要
- No.3 四街道市市民意識調査報告書
- No.4 第2期四街道市教育振興基本計画策定に係るアンケート調査報告書
- No.5 千葉県生涯学習情報システム(ちばリスネット)について
- No.6 第3次四街道市生涯学習推進計画のまとめの表記の仕方

第4次四街道市生涯学習推進計画
策定方針（案）

令和5年6月

四街道市教育委員会

1. 計画策定の趣旨

本市では、平成8年3月に、学びたい人が各々の目的や手段に応じ、いつでも学習活動ができる、うるおいと活力を生む生涯学習社会の実現を目指し、「豊かな心と個性を育む文化・教育のまち」を基本目標とした「四街道市生涯学習推進計画（四街道ま・な・びプラン）」を策定しました。

また、平成21年3月には、その間の社会情勢や生涯学習の方向性等の変化に対応した「学びあいで輝く生涯学習社会づくり—互学協働のまち—」を基本理念とした第2次の「四街道市生涯学習推進計画」を10か年計画として策定し、計画的な生涯学習の推進に取り組んできたところです。

その後、平成30年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」において、基本的な方針と教育政策の目標が示され、これまで本市が進めてきた生涯学習推進の取り組みの成果を継承し、新たに国の示した基本的な方針に沿って、本市の生涯学習施策を総合的に推進する指針として「四街道市生涯学習推進計画（第3次）」を策定しました。

第3次計画が令和5年度をもって終了することから、その成果や諸課題等を踏まえ、更なる生涯学習の推進を図るため、新たに「第4次四街道市生涯学習推進計画」（以下「第4次計画」という。）を策定します。

2. 対象期間

第4次計画の対象期間は、市の最上位計画である「四街道市総合計画」の第1次基本計画（以下「総合計画」という。）と「四街道市教育振興基本計画」の第2期計画（以下「教育振興基本計画」という。）と整合を図り、5年間とします。

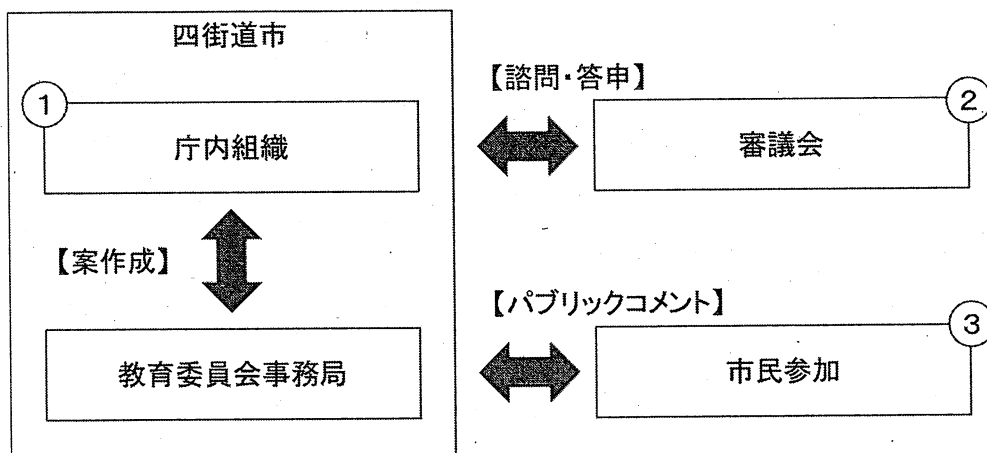
		(年度)													
		令和											25		
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	~		25	
		2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033			2043	
四街道市 総合計画		基本構想（20年間）													
		第1次基本計画（5年間）					第2次基本計画（5年間）								
四街道市 教育振興 基本計画		第2期計画（5年間）					第3期計画（5年間）								

3. 策定の方法

(1) 基本的な考え方

- ・国及び県が定める「教育振興基本計画」等を参酌します。
- ・市が新たに策定する「総合計画」、「教育振興基本計画」と整合を図ります。
- ・第3次計画の成果や課題、社会状況の変化等を踏まえ、作業を進めます。

(2) 策定体制



① 庁内組織

- ・「四街道市生涯学習推進本部」
⇒「生涯学習に関する総合的な企画」と「施策の調整及び推進」に関する
ことを行います。
<構成> 本部長（市長）、副本部長（副市長及び教育長）
本部員（関係各部の部長）
幹事会（関係各課の課長）
検討委員会（関係各課の代表係長）

② 審議会

- ・「四街道市生涯学習審議会」（地方自治法第138条の4第3項）
⇒市民、関係団体、外部有識者等で構成し、市長の諮問に応じ、生涯学習
に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項について調査し、
及び審議します。

③ 市民参加

- ・「意見提出手続（パブリックコメント）」（市民参加条例第7条第1項）
⇒策定過程における透明性の確保と幅広い意見・要望の把握に努めます。

4. スケジュール

第4次計画は、令和5年度中に策定するものとします。なお、個別の作業工程については、その実施段階において、必要な調整を行うこととします。

第4次計画策定スケジュール

年度	月	庁内組織	審議会	市民参加
R4	1月		第1回生涯学習審議会	
	2月			
	3月			
R5	4月			
	5月	第1回本部会		
	6月	検討委員会 幹事会 本部会	第1回生涯学習審議会 【諮問】	審議会等手続の実施
	7月			
	8月		第2回生涯学習審議会	
	9月			
	10月		第3回生涯学習審議会 【答申】	
	11月			
	12月	議会報告		審議会手続の実施結果 意見提出手続の実施
	1月			
	2月		第4回生涯学習審議会	意見手続の実施における意見取 扱い及び結果の公表
	3月			

4 - (2) 第4次四街道市生涯学習推進計画に取り入れるべき課題について

○国

平成30年の中央教育審議会では、現行計画の理念を引き継ぎつつ、一人一人が豊かで安心して暮らせる社会の実現や、社会の持続的な成長・発展を目指し、人生100年時代を見据えた生涯学習の推進など、令和12年以降の社会を展望した課題の解決に向けた教育政策の基本的な方針が示されました。同年6月、「第3期教育振興基本計画」が策定され、基本方針のひとつに「生涯学び、活躍できる環境を整える」が掲げられ、「①人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」、「②人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進」、「③職業に必要な知識やスキルを、生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進」、「④障害者の生涯学習の推進」の4つの教育政策目標が示されました。

令和2年の第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理では、「社会的包摂」、「人生100年時代の生涯学習・社会教育」、「Society5.0に向けたこれからの生涯学習・社会教育」、「地域活性化の推進」、「子供・若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流の推進」が示されました。

令和4年8月の第11期中央教育審議会生涯学習分委会における議論の整理では、社会が急速に変化を続ける予測困難な時代において、生涯学習には、従来の役割のみならず、ウェルビーイングや社会的包摂の実現、デジタル社会への対応、地域コミュニティの基盤づくりといった役割も求められており、こうした状況を踏まえ、生涯学習が果たしうる役割や今後の振興方策等について示されました。

【参考資料No.1 参照】

○県

令和2年に「第3期千葉県教育振興基本計画」において、人生100年時代を見据えた生涯学習推進の各施策について示しており、生涯学習の成果を生かし、社会に貢献できる仕組みづくりや障害のある人の障害を通じた多様な学習活動の推進など、社会の要請に応じた施策を展開してきました。

令和4年3月に策定した「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」では、人生100年時代・Society5.0の到来、社会的包摂の必要性の高まりなど、生涯学習をめぐる環境が大きく変化する中、県民誰もが必要に応じて学習できる多様な学びの場の充実や、社会を支える人材づくりとして必要な知識等の学び直しの支援により、生涯にわたり活躍できる場づくりを推進することとしました。

この「千葉県総合計画」との整合性を図るとともに、「千葉県教育振興基本計画」や生涯学習に関する各種計画等の趣旨を踏まえ、新しい時代にあった生涯学習社会の実現を図るため、令和5年5月に「千葉県生涯学習推進方針」を策定し、生涯学習に関する施策を総合的かつ計画的に進めることとしました。

【参考資料No.2 参照】

○四街道市

令和元年に策定された、四街道市生涯学習推進計画（第3次）では、生涯学習関連事業に5つの視点、「①現役世代の生涯学習に対する配慮、②高齢者の力を活かす、③持続可能な学習形態の推進、④障害者の多様な学習活動の推進、⑤家庭教育支援体制の充実」をもって、生涯学習の推進に取り組んでまいりました。

策定後、これまでも注視してきた少子高齢化や学びのニーズの複雑化・多様化等に加え、コロナ禍を背景とする生活様式の変化により、情報通信技術を活用した学び方やコミュニケーションツールの多様化等、次期計画策定に向けては、急速に進展した生涯学習を取り巻く環境への対応が求められています。

アンケートから見える生涯学習の課題について

【生涯学習についてのアンケート参照先】

(1) 四街道市市民意識調査（令和3年10月実施）

令和6年度を開始年度とする新たな総合計画策定に向けて市民の意向を把握するための基礎資料とする。 【参考資料No.3参照】

(2) 第2期四街道市教育振興基本計画策定に係るアンケート調査（令和4年6月実施）

市民等の意向を把握することにより本市の教育の現状や課題を抽出し、令和6年度を開始年度とする新たな教育振興基本計画（第2期四街道市教育基本計画）を策定する上での基礎資料とする。 【参考資料No.4参照】

(1)の調査では、分野別23項目のうち、生涯学習の分野の満足度は13.0%、（満足度0.9%+どちらかといえば満足12.1%）、不満度は9.3%（どちらかといえば不満7.4%+不満1.9%）で、満足度は18番目となっています。

また、今後の重要度は49.4%（重要12.1%+まあ重要32.3%）で19番目となっています。

性別にみると、「満足度」については、女性14.9%が男性10.5%を上回っており、「不満度」は男性9.3%と女性9.2%とほとんど同じ割合となっています。

年代別では、「満足度」については、20歳以下が20.3%で、「不満度」は60歳代11.5%となっています。

(2)の調査では、全体的な「満足度（満足+どちらかといえば満足）」は平均すると17.1%、「不満度（どちらかといえば不満+不満）」は17.9%となっています。また、「どちらでもない」の平均は65.1%でした。

このことから、生涯学習について、市民の意識を高めるための工夫が必要となっています。

4 - (3) 第4次四街道市生涯学習推進計画の新たな試みについて

◎ “学び” の良さを実感してもらう

理由

生涯学習の目指すところは、個人の人格を磨くために、それを達成する手段として文化の振興や、地域社会における人間関係の形成等が、いつでもどこでも“学び”により調和のとれた社会の発展や、ウェルビーイングに資するような地域社会づくりです。そして、真の豊かな人生を歩み続けるためには、自らの生きる道だけではなく、家族や友人、自分の住むまちが、どのように「良い状態」でいられるかが、持続可能な幸せをもたらすためには重要となります。

↑

理念や目標に繋がっていく

※持続可能な開発目標（SDG s）への取り組み

持続可能な開発目標（SDG s）とは「Sustainable Development Goals」の総称で、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択されました。

2030年を期限とする世界共通の17のゴールの中に「全ての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」という目標があります。

市民一人ひとりが幸福感、生涯学習への満足度を向上させ、持続可能でより良い社会を実現するためには必要です。

持続可能な開発目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(1) 市民の評価を可視化する。

○アンケートを実施している部署に、設問として1つ生涯学習としての満足度を問う。

教育基本法（生涯学習の理念）

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

↓

設問 (案)	生涯学習は、「いつでも、どこでも、自由」に学び、生きがいを見つけ、学びの成果を生かす学習とされています。今回参加され、生涯学習事業としての満足度はいかがでしたか。
回答 (案)	いずれかに○をお願いします。 「満足・やや満足・わからない・やや不満・不満」

考えられるメリット

- 「生涯学習とは？」の啓発で、今自らが生涯学習をしているという感覚を持つことができる市民が増える。
- 行政側は、事業評価ではなく、「生涯学習として市民がどう感じているか」の新たな評価を得ることができる。
- 全庁的に同じアンケートを実施することで、市民にも行政にも生涯学習の理念が浸透していく。

(2) 情報提供の強化

○構築されたシステム「千葉県生涯学習情報提供システム（ちばりすネット）」の活用【参考資料No.5 参照】

考えられるメリット

- ・ 多様な学習情報の提供
- ・ 社会での活躍につながる学習相談が可能
- ・ 学習者と社会をつなぐ仕組みの構築

} 学びの総合窓口

基本方針1 学びの基礎づくり

各事業の具体的な取組

No.1

事業名	中央保育所保育運営事業	
具体的な取組	地域における子育て支援と交流の場の提供	
主要施策	(1) 家庭教育・子育て支援	
具体的な取組の概要		担当課
<p>・子育て支援センターでは、土曜日を開所するほか、来所が困難な方のために公園や公民館において出前事業を実施します。また、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業を行います。</p> <p>・緊急時の対応法等を学ぶことができる幼児安全法講習会を開催します。</p>		保育課
実施する事業・講座・教室など		
出前事業、幼児安全講習会		
該当する視点	①③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
開所日数		
利用者総数		

No.2

事業名	千代田保育所保育運営事業	
具体的な取組	地域における子育て支援と交流の場の提供	
主要施策	(1) 家庭教育・子育て支援	
具体的な取組の概要		担当課
<p>子育てひろばを毎週火曜日に開催しているほか、地域の子育て家庭へのPRもかねて、年2回、近隣の公園で出前子育てひろばを開催します。また、保育所の見学者にも子育て支援事業の情報提供を行います。</p> <p>*子育て広場 同じ地域の子どもを育てる保護者同士が、交流をもつ場（利用者に子育ての悩みがある場合、利用者同士または保育士との関わりの中で、相談することもできる）</p>		保育課
実施する事業・講座・教室など		
子育てひろば		
該当する視点	①③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
子育てひろば実施回数		
利用者数		

視点一覧

- | | |
|--------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮、 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

No.3

事業名	母子保健事業	
具体的な取組	妊娠中から夫婦で子育てに関する知識や技術を習得できる場の提供	
主要施策	(1) 家庭教育・子育て支援	
	具体的な取組の概要	担当課
	妊婦とそのパートナーが、妊娠中の健康、子どもを迎える準備と夫婦共同での子育てについて学べる教室を開催します。	健康増進課
	実施する事業・講座・教室など	
	パパママルーム	
該当する視点	⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
パパママルーム実施回数		
パパママルーム延べ参加人数		

No.4

事業名	農産物生産等支援育成事業	
具体的な取組	親子で食物について考える機会の提供	
主要施策	(1) 家庭教育・子育て支援	
	具体的な取組の概要	担当課
	市民親子農業収穫体験講座を開催し、親子で食物についてともに学ぶ機会を提供します。	産業振興課
	実施する事業・講座・教室など	
	市民親子農業収穫体験講座	
該当する視点	⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
講座回数		
延べ参加者組数・人数		

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

No.5

事業名	子育て学習事業	
具体的な取組	家庭・学校・地域の連携による家庭教育の推進	
主要施策	(1) 家庭教育・子育て支援	
	具体的な取組の概要	担当課
	<p>・就学時健康診断時及び中学校入学説明会時に、家庭教育の重要性に関する子育て学習講座を開催します。</p> <p>・地域・家庭教育学級では、地域の子をもつ親で組織された団体を対象に、家庭教育に関わる講演や情報交換をできる場を提供します。</p>	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	子育て学習講座、地域・家庭教育学級	
該当する視点	①②③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
子育て学習講座開催学校数		
地域・家庭教育学級		

No.6

事業名	読書学習推進事業	
具体的な取組	子どもたちが読書に親しむ機会の提供	
主要施策	(1) 家庭教育・子育て支援	
	具体的な取組の概要	担当課
	<p>乳幼児期から本に親しむため、読み聞かせ等の実践、年代別資料案内しおり、展示活動、講座開催により、多様な資料を紹介し、本と出会う機会を提供します。</p>	図書館
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
児童対象事業数		
一般対象事業数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.7

事業名	一般介護予防事業	
具体的な取組	介護予防を目的とした講習会の開催	
主要施策	(2) 健康づくり	
具体的な取組の概要		担当課
介護予防に関する各種講座や講習会、教室において、健康教育を開催します。		高齢者支援課
実施する事業・講座・教室など		
長寿大学、介護予防の週いち貯筋実施会場での健康教育、出前講座		
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
長寿大学実施回数		
介護予防の週いち貯筋実施会場数と参加者数		

No.8

事業名	健康よつかいどう21プラン推進事業	
具体的な取組	健康よつかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業の実施	
主要施策	(2) 健康づくり	
具体的な取組の概要		担当課
「健康よつかいどう21プラン」推進のための啓発として、市政だよりやホームページで健康情報の提供をします。また、県の健康ポイント事業と連携し、市のインセンティブ事業の充実を図ります。		健康増進課
実施する事業・講座・教室など		
親子で参加する教室		
該当する視点	①⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.9

事業名	成人保健事業	
具体的な取組	健康よつかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業の実施	
主要施策	(2) 健康づくり	
	具体的な取組の概要	担当課
	市民の健康保持増進と疾病予防のため、糖尿病予防教室にて、健診結果相談や集団検診（健診）の他、母子保健事業で健康教育を行い、若い親世代への周知に努めます。	健康増進課
	実施する事業・講座・教室など	
	糖尿病予防教室、各種健康教育・健康相談事業	
該当する視点	①⑤	

指標		
内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.10

事業名	公民館管理運営事業	
具体的な取組	健康づくりに関する学習の機会の提供	
主要施策	(2) 健康づくり	
	具体的な取組の概要	担当課
	・65歳以上の高齢者を対象とした講座を開催します。（長寿大学、福寿大学、あさひ寿大学） ・各種講座を開催することで、学習機会の提供だけでなく参加者同士の交流の場を設けます。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	長寿大学、福寿大学、あさひ寿大学、各種公民館講座	
該当する視点	②③⑤	

指標		
内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
四街道公民館延べ講座数		
旭公民館延べ講座数		
千代田公民館延べ講座数		

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

基本方針2 学びのきっかけづくり

各事業の具体的な取組

No.11

事業名	国際交流事業	
具体的な取組	国際交流協会の活動の周知	
主要施策	(1) 学習情報の発信	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりに姉妹都市短期留学事業の特集記事を作成、掲載します。 ・国際交流協会が開催する、にほんご教室や英会話教室などの各種教室や催し物を支援します。 	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
	各種教室（にほんご教室・英会話教室等）	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.12

事業名	みんなで地域づくりセンター運営事業	
具体的な取組	みんなで地域づくりセンター情報誌の発行	
主要施策	(1) 学習情報の発信	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「みんなで」の発行。 ・市民団体の活動紹介や地域づくりのコーディネートを行います。 	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.13

事業名	社会福祉協議会支援事業	
具体的な取組	社会福祉協議会の情報紙発行の支援	
主要施策		
	具体的な取組の概要	担当課
	社会福祉協議会が実施する、多様な世代を対象とした講座等の開催案内や広報紙発行事業の一部に対して補助金を交付することで、運営支援を行います。	社会福祉課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
社協だよりふくし四街道各号の発行部数 年4回(4・7・10・1月)		

No.14

事業名	公民館管理運営事業	
具体的な取組	公民館だよりの発行	
主要施策	(1) 学習情報の発信	
	具体的な取組の概要	担当課
	公民館だよりを発行し、公民館のサークル活動の促進や主催講座を提供し、生涯学習を支援します。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.15

事業名	生涯学習推進事業	
具体的な取組	①HPやSNSを活用した生涯学習情報の提供 ②生涯学習を推進するためにガイドブックの発行	
主要施策		
	具体的な取組の概要	担当課
	①学習情報をタイムリーに広報するために、HPやSNSを活用します。 ②市が行う各種事業や生涯学習関連施設・団体等の情報を載せた「まなびいガイドブック」を作成し、生涯学習の情報誌として発行します。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.16

事業名	みんなで地域づくりセンター運営事業	
具体的な取組	地域の課題を解決するための講座の開催	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
	具体的な取組の概要	担当課
	みんなで地域づくりセンターにおいて、地域課題を解決するための講座等を開催します。	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
講座等実施回数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.17

事業名	社会福祉協議会支援事業	
具体的な取組	ボランティア活動者を増やすための講座やイベントへの補助	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
具体的な取組の概要		担当課
ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいつくりの支援の確保や活動の支援を行います。		社会福祉課
実施する事業・講座・教室など		
ボランティア育成講座		
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
ボランティア登録団体数		
ボランティア登録個人数		

No.18

事業名	公民館管理運営事業	
具体的な取組	市民が求めるニーズに沿った講座の開催	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
具体的な取組の概要		担当課
公民館運営委員会を開催し、市民による主体的な公民館活動を促進します。		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	②③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.19

事業名	文化財保護管理事業	
具体的な取組	文化財の調査・保護を行い活用を図る	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用し、史料を掲載することで利便性の高い学習機会を提供します。 ・市民団体「文化財ガイドボランティアの会」と文化財散歩を企画し、市民の知識を活かす場を提供します。 	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
「よもやま話」ホームページ掲載		

No.20

事業名	市史編さん事業	
具体的な取組	資料調査及び収集整理や古文書の整理保存と活用	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・四街道市史に関する図書を発行します。また、市史に関する問い合わせに応じます。 ・市内の自治会が保有する文書や個人が所有する文書の史料調査を行い、後世に残せるようデジタル化や保存調査を行います。 	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.21

事業名	生涯学習推進事業	
具体的な取組	①市政について知識を深めるための生涯学習まちづくり出前講座の開催 ②学びたい市民と教えたい市民をつなぐための生きがいつくりアシスト事業の実施	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
具体的な取組の概要		担当課
<p>①生涯学習まちづくり出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政に対する理解を深めるため講座を、担当課との調整により祝日・年末年始を除いた全ての日程で開催します。 <p>②生きがいつくりアシスト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらい、市民の活躍の場を提供します。 ・アシスト登録講師の協力のもと「一日体験講座」を開催します。 		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
生涯学習まちづくり出前講座、生きがいつくりアシスト事業（一日体験講座）		
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
アシスト事業の講師登録者数		
一日体験講座数		
一日体験講座参加者数		

No.22

事業名	市民大学講座事業	
具体的な取組	まちづくりの見識を深めるための市民大学講座の開催	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
具体的な取組の概要		担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座の開催によって、学習者同士の交流を生み出す契機とし、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元を活かす動機づけとします。 ・一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画・運営を行います。 		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
市民大学講座（一般課程・専門課程）		
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
一般課程講座数		
専門課程講座数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.23

事業名	小中学校施設開放事業	
具体的な取組	小中学校施設の一部を開放し、文化・スポーツ活動の活性化を図る	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
具体的な取組の概要		担当課
<p>身近な活動場所として市内小学校の校庭及び市内小中学校の体育館や特別教室を開放し、市民が気軽に文化・スポーツに親しめる環境を整えます。</p> <p><主な活動予定> 書道、ピアノレッスン、バウンドテニス、グラウンドゴルフなどの趣味・教養活動、社会教育活動や文化活動の場、スポーツ・レクリエーション活動</p>		スポーツ青少年課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
利用団体数		
利用者人数		

No.24

事業名	スポーツ普及促進事業	
具体的な取組	スポーツを盛んにするための大会・イベント等の開催	
主要施策	(2) 学習ニーズへの対応	
具体的な取組の概要		担当課
<p>成人を対象にスポーツ活動への参加の促進、健康づくりや仲間づくりの場の提供を行います。</p>		スポーツ青少年課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.25

事業名	公民館管理運営事業	
具体的な取組	高等教育機関と連携した、高度な知識・技術の習得を目的とする講座の開催	
主要施策	(3) ICT活用能力の育成	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催講座は、平日だけでなく土日開催の講座も企画することで、現役世代も参加しやすいようにします。 ・日常生活にも役立つ多様な講座を開催するとともに、学習者同士の交流を促します。 	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	公民館主催講座（シニアのためのパソコン教室など）	
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
講座参加者数		

No.26

事業名	市民大学講座事業	
具体的な取組	高等教育機関と連携した高度な知識・技術の習得を目的とする講座の開催	
主要施策	(3) ICT活用能力の育成	
	具体的な取組の概要	担当課
	ICTを活用した産業やサービス等について、高等教育機関を講師に迎え、専門的な知識を習得します。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.27

事業名	みんなで地域づくりセンター運営事業	
具体的な取組	地域づくりに関する学習についての相談の対応	
主要施策	(4) 相談体制の充実	
具体的な取組の概要		担当課
みんなで地域づくりセンターにおいて、地域づくりに関する市民からの相談を受け付けます。(休館日を除く)		政策推進課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点		
	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
相談件数		

No.28

事業名	社会福祉協議会支援事業	
具体的な取組	社会福祉協議会と連携したボランティア活動に関する相談対応	
主要施策	(4) 相談体制の充実	
具体的な取組の概要		担当課
ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保の寄与や活動の支援を行います。		社会福祉課
実施する事業・講座・教室など		
ボランティア相談日「ボランティアやったるDAY！」		
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
「ボランティアやったるDAY！」年間実施数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.29

事業名	子育て相談支援事業（内部管理事業）	
具体的な取組	子育てコンシェルジュによる子育てに関する相談対応	
主要施策	（４）相談体制の充実	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する相談を受けた際、子育てに関する知識を得る講座の受講等を希望する者に対して、子育て情報誌「すくすく」を配布します。 ・子育てコンシェルジュを配置することにより、保育を必要とする市民へ利用可能なサービスの説明・紹介ができ、安心して育児が行える支援体制をつくります。 	保育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値（R5年度末）	目標値（R10年度末）
子育てコンシェルジュ配置日数		
延べ相談件数		

基本方針3 学びが繋げる地域づくり

各事業の具体的な取組

No.30

事業名	地域災害対策事業	
具体的な取組	市防災訓練や区・自治会主催の防災訓練、出前講座や母子手帳の交付と併せた防災ハンドブックの配布による市民防災への意識の高揚を図る	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災への意識の向上のため、防災訓練を開催します。 ・子育て家庭に対する災害時の備え等の周知のため、母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布します。 	危機管理室
	実施する事業・講座・教室など	
	防災訓練・防災ハンドブックの配布	
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.31

事業名	男女共同参画推進事業	
具体的な取組	男女共同参画に関する講座・イベント等の開催の支援	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	男女共同参画に関する講座・イベント等の広報周知を支援します。	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
	料理教室 (みんな応援簡単レシピ「おとう飯」はじめよう!)	
該当する視点	①	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
PV数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.32

事業名	国際交流事業	
具体的な取組	姉妹都市リバモア市との中学生を対象とした交換留学の実施	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	姉妹都市短期交換留学事業を実施します。	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
	姉妹都市短期交換留学事業	
該当する視点	①②	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.33

事業名	防犯対策事業	
具体的な取組	防犯講習会を開催し防犯意識の高揚を図る	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	市民の防犯意識の高揚と知識の普及・啓発を目的に、市、防犯協会、警察等の関係団体と協力して防犯講習会を開催します。	自治振興課
	実施する事業・講座・教室など	
	防犯講習会	
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
防犯講習会実施回数		
防犯講習会実施団体数		
防犯講習会参加人数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.34

事業名	交通安全対策事業	
具体的な取組	幅広い世代に向けた交通安全教育の推進を図る	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
具体的な取組の概要		担当課
<p>幼児や高校生、高齢者に対する交通安全教室を実施することで、交通安全教育の推進を図ります。</p>		自治振興課
実施する事業・講座・教室など		
交通安全教室		
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
交通安全教室実施回数		
交通安全教室参加団体数		
交通安全教室参加人数		

No.35

事業名	児童センター運営委託事業	
具体的な取組	地域で活動するボランティア団体・市民活動団体等の協力を得て、児童センターの運営	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
具体的な取組の概要		担当課
<p>四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2か所の運営を行います。(事業については、ボランティアの協力のもと実施します。)</p>		子育て支援課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.36

事業名	消費者教育推進事業	
具体的な取組	消費生活に関する意識高揚を図るための講座の開催	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	「子ども消費者教室」など、消費者としての正しい知識を勉強し習得できる場を設けます。	産業振興課
	実施する事業・講座・教室など	
	子ども消費者教室	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.37

事業名	学校支援活動事業	
具体的な取組	地域コーディネーターを配置し地域人材を活用した学校支援	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の求めに応じ、各小中学校に配置した地域コーディネーターが中心となって、学習支援、環境整備、交通安全等のボランティア等を募集し、学校の支援を行います。 ・事業説明や地域コーディネーター同士の意見交換、活動実践を共有する場として、地域コーディネーター会議を開催します。 	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	地域コーディネーター会議、学校支援ボランティア 等	
該当する視点	①②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
ボランティアの延べ年間活動日数		
ボランティアの延べ年間活動人数		

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

No.38

事業名	人権教育事業	
具体的な取組	市民団体の協力を得た人権に関する講座の開催	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体と身近な人権の課題についての学習の機会を設け、人権週間期間中には「人権講演会」を開催します。 	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	人権講演会	
該当する視点	①③④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
講演会参加者数		

No.39

事業名	放課後子ども教室推進事業	
具体的な取組	コーディネーターを配置しての地域人材を活用した放課後の子どもたちの居場所づくり	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室を委託開催し、放課後に保護者が安心して子どもを過ごさせることができる居場所を提供します。 主任児童委員を各団体にコーディネーターとして配置します。 	
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点		

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
委託団体数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.40

事業名	公民館管理運営事業	
具体的な取組	高齢社会に対応した講座の開催	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	多様な講座を開催し、学習者同士の交流を促します。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.41

事業名	青少年体験活動事業	
具体的な取組	青少年の健全育成を推進のため市民団体等の協力を得ての体験活動の開催	
主要施策	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	担当課
	通学合宿（日帰り）を開催します。	スポーツ青少年課
	実施する事業・講座・教室など	
	通学合宿	
該当する視点	⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.42

事業名	国際交流事業	
具体的な取組	国際交流協会と協力し短期留学事業の継続を図る	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	姉妹都市短期交換留学事業を実施します。	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
	姉妹都市短期交換留学事業	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.43

事業名	コラボ四街道事業	
具体的な取組	市民団体が提案した地域の魅力を創出する事業の支援	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	コラボ四街道において、高齢者や子どもを主な対象とする事業を実施します。	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
事業数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.44

事業名	シニアクラブ支援事業	
具体的な取組	クラブ活動を支援し高齢者の生きがいづくりや健康増進を図る	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブに対し事業費の一部を補助し、地域の高齢者に社会参加・交流をする機会を提供します。また、活動方針等については、必要に応じて指導を行います。	社会福祉課
	実施する事業・講座・教室など	
	高齢者向けスポーツ大会、芸能大会	
該当する視点	②	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.45

事業名	シルバー人材センター支援事業	
具体的な取組	高齢者の就労機会を提供するためのセンターの運営補助	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	シルバー人材センターの運営費・事業費の一部を補助することで、高齢者の就労機会、社会参加等の確保に寄与します。	社会福祉課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
会員数		
就業延べ人員数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.46

事業名	社会福祉協議会支援事業	
具体的な取組	ボランティアの機会を提供するためのセンターの運営補助	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保の寄与や活動の支援を行います。	社会福祉課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
ボランティア連絡誌「センター通心」の発行部数		

No.47

事業名	高齢者在宅生活支援事業	
具体的な取組	福祉タクシー利用券によるタクシー利用料の助成事業を通じた高齢者の社会参加を促進	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	65歳以上のねたき高齢者の方等を対象に、乗車1回あたり、料金の半額(上限1,000円)を助成し、高齢者の社会参加を促進します。	高齢者支援課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
交付者数		
延利用枚数		
決算額		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.48

事業名	障害者自立支援給付事業	
具体的な取組	介助者が外出をサポートする同行援護、行動援護、移動援護を提供し、障害のある人の社会参加を促進	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	障害者の外出をサポートするサービスのうち、視覚障害者（児）を対象とする同行援護、重度の知的障害者（児）を対象とする行動援護を提供し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげます。	障害者支援課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
同行援護延利用者数		
行動援護延利用者数		

No.49

事業名	地域生活支援事業	
具体的な取組	介助者が外出をサポートする同行援護、行動援護、移動援護を提供し、障害のある人の社会参加を促進	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	障害者の外出をサポートするサービスのうち、身体・知的・精神障害者（児）を対象とする移動支援を提供し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげます。	障害者支援課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
移動支援延利用者数		

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

No.50

事業名	障害福祉推進事業	
具体的な取組	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成を通じた障害のある人の社会参加を促進	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
具体的な取組の概要		担当課
福祉カーの貸出事業を実施し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげます。		障害者支援課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
福祉カー貸出件数		

No.51

事業名	在宅生活支援事業	
具体的な取組	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成を通じた障害のある人の社会参加を促進	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
具体的な取組の概要		担当課
重度の障害者を対象とした福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成事業を実施し、障害者の社会参加を促し、学習の機会につなげます。		障害者支援課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
福祉タクシー券延利用枚数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.52

事業名	意思疎通支援事業	
具体的な取組	手話通訳者（市または千葉県聴覚障害者協会登録の手話通訳者）の派遣等を行い、意思疎通に手話等を必要とする人と健常者との意思疎通支援	
主要施策	（２）市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	意思疎通に手話等を必要とする人への手話通訳者の派遣等を実施し、障害のある方の社会参加を促し、学習の機会につなげます。	障害者支援課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	④	

指標

内容	現状値（R5年度末）	目標値（R10年度末）
手話通訳者延派遣件数		

No.53

事業名	市民芸術公演事業	
具体的な取組	市民団体と共催により展示会等の開催を通じた文化活動の活性化	
主要施策	（２）市民参画・協働の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	市民団体と共催による郷土作家展と演劇公演を開催し、多様な芸術文化を鑑賞できる場を提供します。また、幅広い人材を対象として参加者を募集することにより、学習成果が発表できるよう支援します。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	学校音楽鑑賞教室、子どもミュージカル	
該当する視点	①②③④	

指標

内容	現状値（R5年度末）	目標値（R10年度末）

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.54

事業名	芸術文化活動支援事業	
具体的な取組	市民ギャラリー等の利用による市民団体主体の芸術文化活動の活性化	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
具体的な取組の概要		担当課
市民ギャラリーの貸出及び芸術文化振興助成金交付により、学習成果の発表の場を提供します。また、インターネットを活用することにより、市民ギャラリーの利用方法や芸術文化振興助成金交付申請書を手軽に入手できるようにし、学習意欲の向上につなげます。		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①②③④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
開館日数		
来場者数		
貸出団体数		

No.55

事業名	文化財保護管理事業	
具体的な取組	地域の文化財の保存	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
具体的な取組の概要		担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用し、文化財の紹介等、利便性の高い学習機会を提供します。 ・市民団体「文化財ガイドボランティアの会」と文化財散歩を企画し、市民の知識を活かす場を提供します。 		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
よもやま話		
該当する視点		

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
ホームページ掲載数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.56

事業名	市史編さん事業	
具体的な取組	歴史資料の収集・整理と目録集や研究誌の発行	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
具体的な取組の概要		担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・四街道市史に関する図書を発刊し、市史に関する問い合わせに応じます。 ・市内の自治会が保有する文書や個人が所有する文書の史料調査を行い、後世に残せるようデジタル化や保存調査を行います。(再掲) 		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.57

事業名	市民大学講座事業	
具体的な取組	市民大学講座修了者による運営委員会を組織しての講座の企画・運営	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
具体的な取組の概要		担当課
運営委員会を組織し、講座のカリキュラム選定や市民大学の運営を市と協働で進めます。		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.58

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	
具体的な取組	市民団体の協力を得たスポーツ教室等の実施	
主要施策	(2) 市民参画・協働の推進	
具体的な取組の概要		担当課
スポーツ教室の支援を行います。		スポーツ青少年課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.59

事業名	みんなで地域づくりセンター運営事業	
具体的な取組	地域づくりの人材育成や市民活動活性化のための講座の実施	
主要施策	(3) 人材育成・活用の推進	
具体的な取組の概要		担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの主体となる団体の情報交換・意見交換の場を提供します。 ・地域づくりのための学びの場の提供等、新規市民団体の立ち上げやまちづくりを担う人材の育成を支援します。 		政策推進課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.60

事業名	社会福祉協議会支援事業	
具体的な取組	社会福祉協議会と連携し、ボランティアを担う人材育成	
主要施策	(3) 人材育成・活用の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで活動の支援を行います。	社会福祉課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
ボランティア連絡誌「センター通心」の発行部数		

No.61

事業名	森林ボランティア養成事業	
具体的な取組	森林の整備や保全活動を担う人材の養成	
主要施策	(3) 人材育成・活用の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	森林ボランティア養成講座において、市内ボランティア団体の活動紹介も併せて行い、ボランティア団体への参加を促進します。	産業振興課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①②	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
森林ボランティア養成講座参加者数		
四街道フォレストへの登録者数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.62

事業名	生涯学習推進事業	
具体的な取組	①地域人材を登録・活用するアシスト事業の推進 ②生涯学習推進員の配置の検討	
主要施策	(3) 人材育成・活用の推進	
具体的な取組の概要		担当課
①生きがいつくりアシスト事業の実施 ・専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらい、市民の活躍の場を提供します。 ・「一日体験講座」を実施し、登録講師の活用を図ります。 ②生涯学習推進員の配置の必要性について検討します。		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
生きがいつくりアシスト事業		
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
生きがいつくりアシスト事業登録講師数		
生きがいつくりアシスト事業講座数		
生きがいつくりアシスト事業参加者数		

No.63

事業名	市民大学講座事業	
具体的な取組	地域活性化を担う人材育成	
主要施策	(3) 人材育成・活用の推進	
具体的な取組の概要		担当課
講座の内容に「共生と連携」「生活基盤を考える」「郷土学習」の3本の柱を設け、地域活性化を担う市民の学習に役立てます。また、市民大学受講生には市政情報を届け、参画を促します。		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①②③④⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.64

事業名	青少年育成活動支援事業	
具体的な取組	地域活性化を担うジュニアリーダーの育成	
主要施策	(3) 人材育成・活用の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会育成連合会に補助金を交付し、活動支援を行います。 補助金を活用して市内の小中学生及び中学生を対象とした講習会を開催します。 	スポーツ青少年課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.65

事業名	地域災害対策事業	
具体的な取組	防災訓練や乳幼児の健診時に「防災ハンドブック」を配布し防災意識の高揚を図る	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	子育て家庭に対する災害時の備え等の周知のため、母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布します。	危機管理室
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.66

事業名	男女共同参画推進事業	
具体的な取組	市民団体が実施する講座・イベント等の開催を支援し、男女共同参画意識の醸成に努める	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援します。	政策推進課
	実施する事業・講座・教室など	
	料理教室（みんな応援簡単レシピ「おとう飯」はじめよう！）	
該当する視点	①	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.67

事業名	防犯対策事業	
具体的な取組	防犯意識の高揚を図るためのイベントを活用した啓発活動	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	様々な団体が協力してイベントを開催し、防犯意識の高揚を図るための啓発活動を行います。	自治振興課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.68

事業名	交通安全対策事業	
具体的な取組	交通安全意識の高揚を図るためのイベントを活用した啓発活動	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を行います。	自治振興課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.69

事業名	人権擁護事業	
具体的な取組	人権週間に合わせた啓発活動を行い、人権意識の高揚を図る	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	人権週間に合わせた啓発活動として、JR四街道駅改札前に横断幕を設置、市広報紙での記事の掲載を行います。	社会福祉課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.70

事業名	環境保全対策事業	
具体的な取組	地球温暖化防止の意識の高揚を図るためのイベントを活用した啓発活動	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭から排出される二酸化炭素の量を数値として見える化し、自己の環境意識を高めます。省エネルギーへの取り組みを助長できる環境家計簿を市ホームページで入手できるようにします。(この取組等に係る費用の支出はなし) 市民団体が実施する、市内小学校4年生を対象とした環境出前講座や自治会に対する成人向け環境家計簿講座等を開催します。また、産業まつりにて、同委員会による「地球温暖化防止コーナー」での啓発活動も実施します。 	環境政策課
	実施する事業・講座・教室など	
	環境出前講座、環境家計簿講座 等	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.71

事業名	ごみ減量化・リサイクル推進事業	
具体的な取組	ごみの減量・リサイクル意識の高揚を図るためのイベントを活用した啓発活動	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> ちばユニバーサル農業フェスタにおいて、イベントを開催し、食品ロス削減を啓発します。 市内の小学校に出向し、市内のごみ処理の現状や日常生活で簡単に取り入れることができるごみの減量と分別方法について授業を行います。 	廃棄物対策課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.72

事業名	消費者教育推進事業	
具体的な取組	消費生活に関する意識の高揚を図るためのイベントを活用した啓発活動	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
具体的な取組の概要		担当課
市民の消費生活に関する意識の向上、学習機会の確保のため、講座や展示会を開催します。		産業振興課
実施する事業・講座・教室など		
消費生活講座、消費生活展		
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
消費生活講座実施回数		
消費生活講座延受講者数		

No.73

事業名	人権教育事業	
具体的な取組	人権週間に合わせた講演会を開催し人権意識の高揚を図る	
主要施策	(4) 啓発活動の推進	
具体的な取組の概要		担当課
人権に関する課題を掘り下げて学習できるよう「人権講演会」を開催します。		社会教育課
実施する事業・講座・教室など		
人権講演会		
該当する視点	①③④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

基本方針4 学びを支えるまちづくり

各事業の具体的な取組

No.74

事業名	ふるさとまつり事業	
具体的な取組	盆踊りや本御輿の参加を通じて、文化的伝統を次の世代に伝え、学習する機会を提供する市民参加型のまつりの開催	
主要施策	(1) 互いを高め合うコミュニティ活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	ふるさとまつりを開催します。	自治振興課
	実施する事業・講座・教室など	
	四街道ふるさとまつり	
該当する視点	①③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.75

事業名	産業まつり実施事業	
具体的な取組	市内産農産物や商工業製品の展示、即売を通じて、市内産業を市民に広く知っていただき、生産者・商工業者と消費者との相互理解を深めるまつりの開催	
主要施策	(1) 互いを高め合うコミュニティ活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	産業まつりを開催します。	産業振興課
	実施する事業・講座・教室など	
	産業まつり	
該当する視点	①	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.76

事業名	市民文化祭事業	
具体的な取組	芸術文化活動の発表・展示のほか、体験教室等により、市民の芸術文化活動への意欲を高めるまつりの開催	
主要施策	(1) 互いを高め合うコミュニティ活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	実行委員会と共催し、幅広い年齢層を対象とした市民文化祭を開催します。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	児童生徒作品展	
該当する視点	①②③④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.77

事業名	ガス灯ロードレース大会事業	
具体的な取組	市民の体力向上や健康増進を図るほか、パラロードレース大会を同時に開催し、障害のある人もない人も楽しめる大会の開催	
主要施策	(1) 互いを高め合うコミュニティ活動の推進	
	具体的な取組の概要	担当課
	ガス灯ロードレースを開催します。	スポーツ青少年課
	実施する事業・講座・教室など	
	ガス灯ロードレース	
該当する視点	①②④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

No.78

事業名	コミュニティ施設維持管理事業	
具体的な取組	地域活動の拠点となる区・自治会の集会所の整備等に対し補助を行い、コミュニティ活動の推進を図る	
主要施策	(2) 生涯学習関連施設の確保・整備	
	具体的な取組の概要	担当課
	施設の整備等に対し補助を行うことで、年間を通じ施設の活用を推進します。	自治振興課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	①②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
自治会館への補助 (修繕)		
自治会館への補助 (備品費)		
自治会館への補助 (管理費)		

No.79

事業名	シニア憩いの里運営支援事業	
具体的な取組	施設維持管理費の一部補助による高齢者の集いの場の確保・維持	
主要施策	(2) 生涯学習関連施設の確保・整備	
	具体的な取組の概要	担当課
	地域住民等が自主的に運営し、高齢者が自由に集い交流できることを目的とする施設に対し、施設維持管理費の一部を補助します。	社会福祉課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.80

事業名	総合福祉センター管理運営事業	
具体的な取組	施設の維持保全を行い各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備	
主要施策	(2)生涯学習関連施設の確保・整備	
具体的な取組の概要		担当課
施設を利用している各種団体やサークルに対し、安定的に利用のできる活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行います。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握します。 (児童センター、老人福祉センター、地域福祉センター)		社会福祉課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
開館日数		
利用者数		

No.81

事業名	南部総合福祉センター管理運営事業	
具体的な取組	施設の維持保全を行い各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備	
主要施策	(2)生涯学習関連施設の確保・整備	
具体的な取組の概要		担当課
施設を利用している各種団体やサークルに対し、安定的に利用のできる活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行います。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握します。 (児童センター、老人福祉センター、ふれあいセンター) (同種施設のため再掲)		社会福祉課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
開館日数		
利用者数		

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

No.82

事業名	児童センター運営委託事業	
具体的な取組	子育て支援を推進する拠点施設とした児童センターの環境整備	
主要施策	(2) 生涯学習関連施設の確保・整備	
	具体的な取組の概要	担当課
	四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2か所の運営を行います。	子育て支援課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.83

事業名	こどもルーム運営事業	
具体的な取組	小学生が放課後に学習や遊びを行える生活の場となるこどもルームの環境整備	
主要施策	(2) 生涯学習関連施設の確保・整備	
	具体的な取組の概要	担当課
	各こどもルームで「自習」の時間を設け、宿題を行える環境を整備することで、保育の必要性が有る家庭内においても教育がスムーズに行えるよう支援します。	保育課
	実施する事業・講座・教室など	
	こどもルーム	
該当する視点	③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
こどもルーム数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.84

事業名	都市公園・緑地維持管理事業	
具体的な取組	スポーツ施設の改修等、スポーツ活動の環境整備	
主要施策	(2)生涯学習関連施設の確保・整備	
具体的な取組の概要		担当課
<p>・庭球場などの有料公園施設を生涯学習活動の場として提供します。 ・スポーツ施設の適切な維持管理により、施設の安全性を確保し、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の健康づくりの場、生涯学習活動の場を提供します。</p>		都市計画課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.85

事業名	教育委員会事務局運営事業	
具体的な取組	教育関係の情報コーナーを設置し、生涯学習の推進を図る	
主要施策	(2)生涯学習関連施設の確保・整備	
具体的な取組の概要		担当課
<p>第二庁舎の1階スペースに「学習情報コーナー」を常設し、生涯学習に関するポスターの掲示やパンフレット等の配架を行います。第二庁舎の開庁日（時間中）は、いつでも、だれでも情報収集に立ち寄ることができるようになっています。</p>		教育総務課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
開庁日数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.86

事業名	公民館管理運営事業	
具体的な取組	社会教育を推進する拠点施設とした公民館の環境整備	
主要施策	(2) 生涯学習関連施設の確保・整備	
	具体的な取組の概要	担当課
	必要に応じて修繕・工事などを実施し、多様な世代が使用する公民館の環境整備を行います。	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	②③⑤	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.87

事業名	歴史民俗資料施設整備事業	
具体的な取組	歴史民俗資料を整理・活用した、まちの歴史を知る機会の提供	
主要施策	(2) 生涯学習関連施設の確保・整備	
	具体的な取組の概要	担当課
	<ul style="list-style-type: none"> 文化財活用員や四街道市の昔の様子をよく知る高齢者を講師に迎え、歴史民俗資料室の見学対応ほか、民具や文化財の出前授業等を開催します。 歴史民俗資料室の見学を通して、疑問に思ったことを学習者（児童）同士で主体的に話し合う場を提供します。 	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	歴史民俗資料室見学、出前授業	
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)
歴史民俗資料室見学をした学校数		
出前事業を行った学校数		

視点一覧

① 現役世代の生涯学習に対する配慮	④ 障害者の多様な学習活動の推進
② 高齢者の力を活かす	⑤ 家庭教育支援体制の充実
③ 持続可能な学習形態の推進	

No.88

事業名	体育施設管理運営事業	
具体的な取組	スポーツ施設の改修等、スポーツ活動の環境整備	
主要施策	(2)生涯学習関連施設の確保・整備	
具体的な取組の概要		担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて修繕・工事などを実施し、多様な世代が使用するスポーツ施設の環境整備を行います。 ・指定管理者に施設の管理運営を委託し、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の健康づくりや交流を行います。 		スポーツ青少年課
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	②③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

No.89

事業名	図書館管理運営事業	
具体的な取組	市民が快適に学習・読書ができる生涯学習施設として計画的な改修等	
主要施策	(2)生涯学習関連施設の確保・整備	
具体的な取組の概要		担当課
多様な働き方をする市民が来館しやすい施設の運営に努めます。		図書館
実施する事業・講座・教室など		
該当する視点	①③④	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

視点一覧

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 現役世代の生涯学習に対する配慮 | ④ 障害者の多様な学習活動の推進 |
| ② 高齢者の力を活かす | ⑤ 家庭教育支援体制の充実 |
| ③ 持続可能な学習形態の推進 | |

No.90

事業名	資料管理整備事業	
具体的な取組	市民のニーズを大切にしたい資料収集や多様な学習に役立つ図書等を提供し、市民の生涯学習の充実を図る	
主要施策	(2) 生涯学習関連施設の確保・整備	
	具体的な取組の概要	担当課
	インターネットによる蔵書検索・予約により、来館を要さず必要とする資料の所蔵状況を自由に調べ、確保する環境を整えます。また、紙媒体の資料のほか電子書籍の整備により、いつでも、どこにいても読書が楽しめる環境整備を図ります。	図書館
	実施する事業・講座・教室など	
該当する視点	③	

指標

内容	現状値 (R5年度末)	目標値 (R10年度末)

第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理【概要】

～全ての人のウェルビーイングを実現する、共に学び支えあう生涯学習・社会教育に向けて～

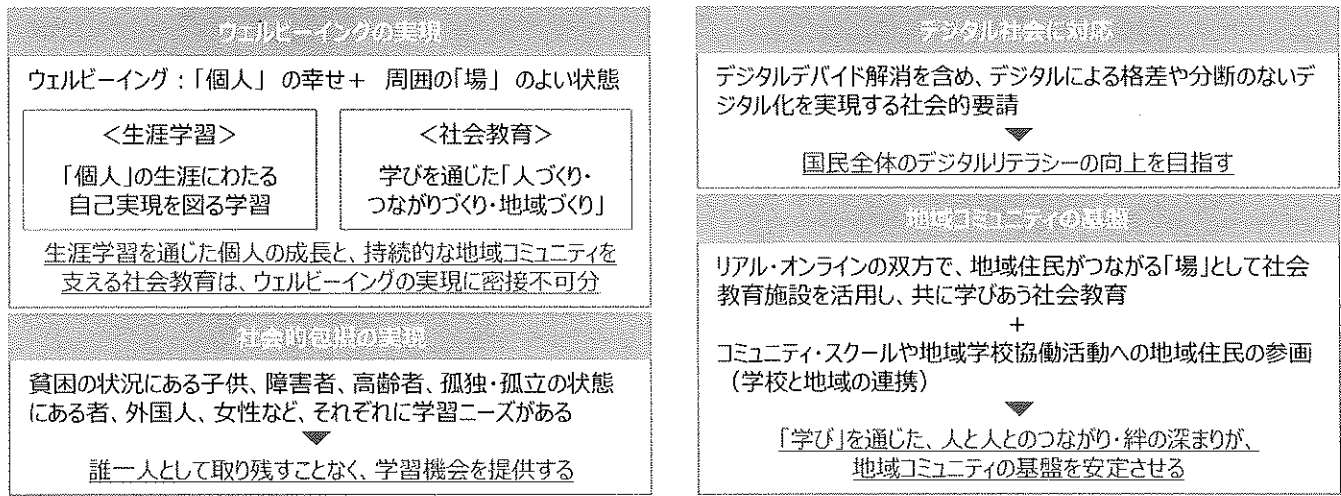
1 生涯学習・社会教育をめぐる現状・課題

- 社会やライフスタイルの変化等により、人と人との「つながり」の希薄化、困難な立場にある人々（貧困の状況にある子供、障害者、高齢者、孤独・孤立の状態にある者、外国人等）などに関する課題が顕在化・深刻化
⇒ **社会的包摂**と、その実現を支える**地域コミュニティ**が一層重要に
- 「新しい資本主義」に向けた人への投資の充実、デジタル社会の進展への対応の必要性が増大
⇒ **社会人の学び直し**をはじめとする生涯学習が一層重要に
特に、**デジタルデバイド解消**や、国民全体の**デジタルリテラシー向上**が喫緊の課題に（デジタル田園都市国家構想の実現）

2 生涯学習・社会教育が果たしうる役割

- 生涯学習： 職業や生活に必要な知識を身につけ自己実現を図るためのもの。他者との学び合い・教え合いにより豊かな学びにつながるもの
- 社会教育： 学びを通じて「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生み、持続的な地域コミュニティを支える基盤となるもの

人生100年時代・VUCAの時代においては、こうした従来の役割に加え、下記の役割がより重要に

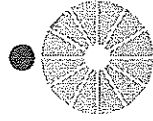


3 今後の生涯学習・社会教育の振興方策

- 公民館等の社会教育施設の機能強化**
 - ・ 公民館等の役割を明確化（社会的包摂の実現、地域コミュニティづくり、子供の居場所としての役割等）
 - ・ リアルとオンラインの双方で、住民が相互に「つながり」を持てる共同学習・交流を促進⇒ **地域コミュニティの基盤**に
 - ・ 公民館等のデジタル基盤を強化（PC等の機器導入、Wi-Fi環境整備等）
 - ・ デジタルデバイドの解消やデジタル・シティズンシップの育成のための教育⇒ **国民全体のデジタルリテラシー向上**へ
 - ・ 他機関との連携（自前主義からの脱却）や、住民の意向を反映できる運営や評価の在り方の見直し等による運営改善
- 社会教育人材の養成・活発化の促進**
 - ・ 社会教育主事の配置を促進⇒ 地域課題に応じた関連部局・施策と社会教育との連携・調整を推進
 - ・ 社会教育士の公民館等への配置促進、社会教育士のネットワーク化等による活躍機会の拡大
 - ・ 多様な分野の施策と連携しつつ、つながりづくり・地域づくりを担えるよう、社会教育士に係る制度の在り方を検討（例：社会教育士の役割や称号付与と要件の見直し等）
 - ・ 社会教育人材の継続的な学習機会の確保も検討（デジタルに関するスキルアップ・現代的課題への対応等）
- 地域と学校の連携・協働の推進**
 - ・ **コミュニティ・スクール**について、十分な理解の下で全国的に導入を加速
 - ・ 地域学校協働活動推進員の常駐化や、学校運営協議会の運営等に係る支援員の新たな配置の促進
 - ・ 保護者、PTA活動の経験者、NPOや企業関係者などの多様な地域住民の参加を推進
 - ・ 部活動の地域移行の推進に向け、地域の実情に応じ、社会教育関係団体等と積極的に連携
- リカレント教育の推進**
 - ・ 時間的・経済的な制約の中で学び直しを希望する女性や就業者、求職者など個々人のニーズに応じたリカレント教育を充実
 - ・ ①大学・専門学校におけるリカレント教育プログラムの充実、②社会人が受講しやすい時間帯・期間・授業形態等の工夫、③情報発信の充実（公民館や民間等によるものを含む）④学習履歴の可視化（オープンバッジ等のデジタル技術の活用）等を推進
- 多様な障害者に対する生涯学習の推進**
 - ・ 障害者の生涯学習を、国・各地方公共団体の生涯学習・社会教育推進施策として明確に位置付ける
 - ・ 障害者の生涯学習推進を担う人材育成・確保や、共生社会についての理解を促進

・ 国は、生涯学習・社会教育が、社会的包摂の実現や地域コミュニティ構築の役割を果たせるよう、振興方策の全体像を明確化
 ・ 国及び地方公共団体は、国民全体のデジタルリテラシーの向上に向けた取組をこれまで以上に推進
 ・ 地方公共団体は、社会教育主事の配置や社会教育士の活躍機会の拡充を積極的に検討。また、社会的包摂の実現や地域コミュニティ構築に関連する部局やNPO等民間団体との連携・協力を促進（教育委員会は総合教育会議等を活用して首長部局と積極的に連携）

今後の生涯学習・社会教育の振興方策 (重点事項) について



文部科学省

ウェルビーイングの実現に向けた生涯学習・社会教育の推進 ～これまでの議論を踏まえた施策の方向性～

教育振興基本計画の理念

自立・協働・創造

第9期生涯学習分科会答申

「社会教育の意義と果たすべき役割」

学びを通じた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」

経済財政運営と改革の基本方針2022

「人への投資」

「デジタル田園都市国家構想」

第11期生涯学習分科会 議論の整理

ウェルビーイングの実現

共に学び支え合う

生涯学習・社会教育

地域コミュニティの基盤

社会的包摂の実現

デジタル社会への対応

次期教育振興基本計画（素案）の総括的基本方針

「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」「持続可能な社会の創り手の育成」

生活を支えるリテラシーの向上

デジタルデバイドの解消

〔 障害者・外国人等の学習ニーズへの対応等 〕

地域づくりを支える社会教育の実現

様々な地域課題への取組・解決

持続可能な社会の創り手の育成等

一人一人の生活と地域づくりを支える「学びと実践」の機会と場を提供する

「地域の学びと実践プラットフォーム」としての役割を、社会教育人材・施設が連携して担う

「地域の学びと実践プラットフォーム」のねらいと効果

生活を支える市民参加の向上

- デジタルリテラシーの学習機会を公民館で提供することで、オンラインでの学習やSNSでのつながり作りなどを可能に。
(デジタルのコンテンツ・ネットワーク等の活用に加え、仲間・地域とリアルに繋がる場（公民館等）も提供)
- 社会教育主事等のコーディネートにより、公民館等の社会教育施設において、高齢者・障害者・外国人等の個人のニーズに応じた生活に必要な学び・学び合いを支援

地域づくりを支える社会教育の実現

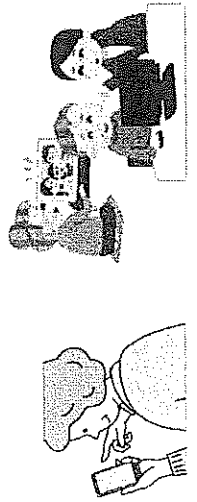
- 公民館活動への地域住民の参加を促進し、コミュニティ施策や地域づくり部局とのタイアップを推進
- 社会教育士のネットワーク化や公民館等への配置を促進し、社会教育士の得意分野を活かして住民による地域づくりを組織的に支援
- 住民の主體的参画を重視し、他の地域活動との協働やコミュニティ・スクールの連携等により、多世代の参画を推進。

「地域の学びと実践プラットフォーム」

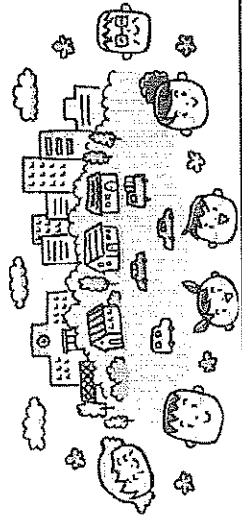
一人一人の生活と地域づくりの双方を支える役割を、社会教育人材・施設がその専門性を生かし、連携して担う体制を構築

期待される効果

①：高齢者等を含め、日本に暮らす全ての人が当たり前にデジタルの恩恵（行政・民間サービス）を享受。
(肝心な時はリアルなつながりも大切)



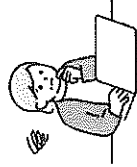
②：子供・若者を含む主體的な住民参画とそれを支援する行政の相乗効果で、地域住民の健康・住みやすさ・住民満足度等のウェルビーイングが向上



③：まちづくりや福祉・防災等の地域課題に関する行政も、地域の協力あってこそ。行政の施策効果やコスト面でも好影響。

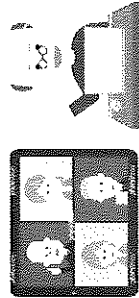
地域の学びと実践プラットフォーム（イメージ図：地域づくり社会教育）

生活を支えるリテラシーの向上



- ・市長のツイッターで何？
- ・マイナンバーカードってどう役立つの？

公民館のデジタル入門講座で学べますよ
講座受講者のA氏に地域のサポート役を依頼したので教えてもらえますよ



- ・オンラインで学習したい
- ・SNSなどで仲間と繋がりたい

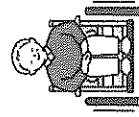
公民館で学習したことを活かしてSNS上でグループを作りましょう



簡単な日本語をあなたの母語で学べるデジタルコンテンツがありますよ

- ・必要な情報にアクセスしたい
- ・地域の一員として参画したい

生涯学習推進員
（社会教育主事OB）



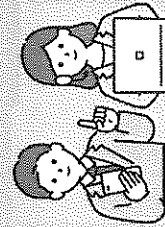
ネットスーパーでの買い物やスマホから試してみよう
スマホで病院までの距離や時間タクシーも調べられますよ

- ・車いすになって普段の買い物もひと苦労だ
- ・急な通院、診療時間に間に合うだろうか？

学生
（社会教育士養成課程）

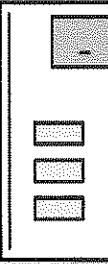


社会教育人材ネットワーク



社会教育主事・社会教育士
（地域における学びと実践のコーディネーター）

地域の学びと実践プラットフォーム



公民館等

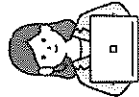
- デジタルリテラシーの学習機会を保証
- 仲間・地域とリアルで繋がる場も提供
- デジタルの活用で多様な学び・学び合いの機会を充実
- 公民館の運営自体も住民の参画の場に

地域づくりを支える社会教育の実現



- ・地域を担う後継人材が育たない
- ・行政主導の地域振興イベントの効果は一時的なものになりがち

イベント運営参画を機に継続的な地域づくりに関する人材が育つよう、社会教育士研修で学んだ地域住民を巻き込むワークショップ的手法を社会教育担当の協力を得て取り入れてみよう



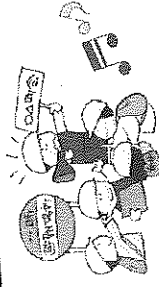
地域づくり担当部局
（社会教育士）



防災訓練は、児童生徒に対する防災体験学習や非常食の試食も取り入れて、楽しく多世代で学べる場にしたら、参加率が上がるぞ



町内会メンバー
（社会教育士）



地域学校協働活動、PTA、子ども会の活動に携わっていた方と社会教育士ネットワークの研修で知り合ったから協力を依頼してみよう



企業人
（社会教育士）

社会や地域に貢献したいと思っっている知り合いの企業・団体にも、地域活動への協力を依頼できますよ

社会教育人材の活用に関する現状の課題と重点事項（重点的に取り組むべき事項）

	行政職員（地方公務員、教育公務員）	一般企業・地域等
	<p>教育委員会</p> <p>公民館・学校等</p> <p>首長部局(地域振興課等)</p> <p>企業・団体(NPO) など</p>	
組織的に活用に関する課題	<p>課題① 社会教育人材について、どこに、どんな人(経歴・得意分野等)がいるのかわからない</p> <p>課題② 社会教育主事・社会教育士になった後、継続的な研修や繋がり維持の機会がない</p> <p>課題③ 社会教育主事の配置率が低い</p> <p>課題④ 公民館職員の専門性の向上も重要</p> <p>課題⑤ 社会教育は地域振興等にも役立つとの認識が浸透していない</p> <p>課題⑥ 社会教育士の専門性を生かせる活躍の場が少ない</p> <p>課題⑦ 社会教育主事・社会教育士になるための講習は、仕事をしながらの受講が困難</p> <p>課題⑧ 講習内容について、現代的課題に対応した見直しも必要</p> <p>講習の未受講者</p>	<p>課題①②⑥ 関係</p> <p>重点事項(1) 社会教育人材ネットワークの構築による組織的な活用</p> <p>課題②⑧ 関係</p> <p>重点事項(2) 社会教育士等の講習・研修の充実 (継続的な学習・交流を支援。現代的ニーズを踏まえて内容を見直し。)</p> <p>課題③④ 関係</p> <p>重点事項(3) 社会教育分野での人材確保 (社会教育主事の配置、社会教育士の配置・登用の促進、公民館主事等の講習受講の促進等)</p> <p>課題⑤⑥ 関係</p> <p>重点事項(4) 地域振興分野等での人材確保 (地域振興部局担当者、町内会・まちづくり協議会関係者等の講習の受講促進等)</p> <p>課題⑦ 関係</p> <p>重点事項(5) 講習の受講機会の拡大等 (受講者枠拡大・オンライン化等)</p>
配置・活用に関する課題	<p>社会教育主事</p> <p>社会教育士</p> <p>社会教育士</p>	<p>社会教育士</p>
裾野の拡大に関する課題	<p>社会教育士</p>	<p>社会教育士</p>

「地域の学びと実践プラットフォーム」構築に向けた重点事項（社会教育人材関係）

重点事項(1)

社会教育人材ネットワークの構築・展開による組織的な活用

- 社会教育主事・社会教育士に対し、研修情報の周知、イベントや個別相談対応への協力依頼等を組織的に行えるよう、社会教育主事講習・養成課程の実施機関である大学等の協力も得ながらネットワークを構築・展開。
- 対象者、活用方法等の詳細は、集約する情報の種類（氏名や属性等）や、集約の主体・手法等とあわせて検討。また、ネットワークの自主的な活用や人材の確保の観点から、社会教育主事OBや社会教育主事養成課程の学生等の活用も検討。
- 社会教育士が地域で活動しやすくなるよう、社会教育士であることを証明する修了証書やデジタルバッジ等の導入を検討。

重点事項(3)

社会教育分野での人材確保（社会教育主事の配置促進、公民館等への社会教育士の配置・登用の促進、公民館主事等の講習受講の促進等）

- 社会教育主事の配置状況を分析し、自治体に必要な働きかけの実施。
- 社会教育士の公民館や地域学校協働活動推進員への配置・登用を促進する。また、公民館主事や地域学校協働活動推進員、PTA、子ども会等の社会教育関係者等の専門性の向上に向け、社会教育主事講習の受講を推奨する。

重点事項(5)

講習の受講機会の拡大等（受講者枠の拡大・オンライン化等）

- 働きながらも社会教育主事講習を受講したいというニーズに応えるため、社会教育主事講習のオンライン化や夜間・休日中心の講座を含む多様な社会教育主事講習を展開。社会教育主事講習の定員の増加等に向け、講習実施機関へ働きかけ。
- 民間資格等による科目代替の検討など社会教育士の資格取得の促進策を検討。

重点事項(2)

社会教育士等の講習・研修の充実（講習のアップデート、継続的な学習・交流への支援）

- 社会教育主事・社会教育士に必要とされる専門性に関する内容や、デジタル活用、多様なニーズへの対応に関する内容について、社会教育主事講習等に反映。
- 社会教育士等が継続的に学習できるよう、公開可能な研修をオンラインで配信。その際、継続的な学習の機会が、相互に協力しあえる人的つながりがづくりの機会となるよう、社会教育人材ネットワークの活用も検討する。

重点事項(4)

地域振興分野等での人材確保（地域振興部局担当者、町内会・まちづくり協議会関係者等の講習の受講促進等）

- 首長部局の地域振興担当等における社会教育士の活用が進むよう、当該部局の職員への講習受講を促進。
- 社会教育人材ネットワークを活用し、社会教育人材の地域振興施策への協力を促進。

横断的事項

- 生涯学習分科会において、社会教育教育人材に関する取組の実施状況を踏まえ、さらに専門的な議論・検討を行う。（議論・検討にあたっては、社会教育主事・社会教育士の制度的な位置づけを踏まえ、社会教育主事講習の名称変更も含めて検討。）
- 国で社会教育を一層推進するための体制の検討・整備を進めるとともに、実際の課題解決事例を参考に、各自自治体の取組が進むようアドバイスする体制を検討。その一環として、社会教育マイスター（仮称）を創設。
- 社会教育におけるEBPMの推進。

地域の学びと実践プラットフォーム（イメージ図：関係組織や住民等との連携）

地域

**他の行政施策・部局と連携し
多様な住民ニーズに対応**
(地域振興、多世代交流、福祉等)

- 地域づくり（地域振興）をはじめ、多様な世代を対象とする他の行政施策や担当部局とのタイアップを推進し、多世代交流による地域コミュニティづくりを支援
- 住民の自主的な学びや参画を促し、行政施策の効果高め、持続性やコストも改善

(連携の例)

【放課後児童健全育成事業】
放課後児童クラブ等を
公民館で実施

【地域運営組織】

公民館活動を母体とした地域運営組織の取組（子育て交流、学習支援等）や支援措置等を周知

【農村型地域運営組織（農村RMO）】
中山間地域における農地保全や生活の支え合い等の活動を公民館と連携して実施

【重層的支援体制整備事業】
相談支援や交流の場など
社会福祉分野における協働

生活



社会教育人材ネットワークとの連携

- 首長部局や地域にいる社会教育士と連携し、それぞれの強みを活かした協力を得て、多様な課題に対応・解決

社会教育主事・社会教育士

地域の学びと実践プラットフォーム

公民館等

**デジタルとリアル双方の教育機会の提供による
「つながりづくり」**

- デジタルリテラシーの学習機会を保証
- 仲間・地域とリアルに繋がる場も提供
- デジタル技術の活用等、公民館のデジタル化を推進

社会的包摂の実現に向けた学習支援

- 公民館等の社会教育施設を拠点とし、社会教育人材のコーディネートにより、ICTやデジタルコンテンツ等も活用しながら、高齢者・障害者・外国人等の個々のニーズに添って生活に必要な学び・学び合いを支援（福祉部局等とも連携）
- 不登校、貧困等の課題を抱える子供たちの学びを支援（地域学校協働活動や家庭教育支援チーム等と連携）
- 社会教育での学びに加えて更に学びたい者が、大学等が提供する学習コンテンツの情報を得られるよう、リカレント教育の検索サイト「マナビパス」等とも連携

地域住民による公民館運営への参画

- 身近な公民館の運営への住民の参画を促すことで、住民が行政に主体的に関わるようになる機会を提供
- 特に、若い世代の公民館に対する声の把握に努め、子供や若者も集う地域コミュニティの拠点に。



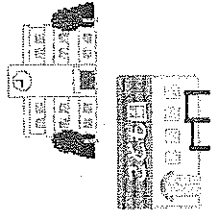
民間企業やNPO等との連携

- 民間企業やNPO、町内会、PTA、子ども会等との協働により、公民館が多様な属性をもつ者の活動が重なりあう場となることで、地域コミュニティの繋がりを強める。
- 企業と連携してリアルな体験活動等を推進し、リアルな体験や繋がりの良さを実感できる場に。



地域と学校等の連携・協働の推進

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、子供を中心として、幅広い地域住民等が地域で繋がる機会を提供。



社会教育施設に関する現状の課題と重点事項

社会教育施設をめぐる課題

課題①

地域住民のニーズが多様化し、従来の取組だけでは、多様な住民の期待・ニーズへの対応が困難に。

課題②

様々な行政分野で、地域との関係性が重視され、地域づくりや自主的取組みに資する社会教育的な学びとの連携が求められている。

課題③

地域コミュニティにおける住民同士の関係性が希薄化。地域における様々な活動間(町内会や学校等の活動と公民館活動など)で、必ずしも連携が十分ではない。

課題④

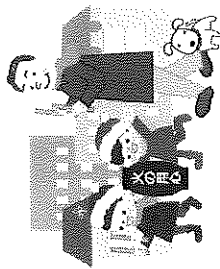
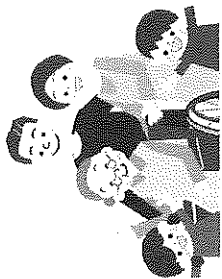
様々な活動の際に集まれる場としての強みを地域コミュニティづくりに十分生かせていない。

課題⑤

公民館の運営や評価等について、地域住民の参画や意向の反映が必ずしも十分ではないことも。

課題⑥

公民館等での学びが、住民同士の繋がりがりづくりや地域づくりをはじめとした、地域における実践に十分に結びついていない。



重点的に取り組むべき事項を
明確化

重点事項(1)

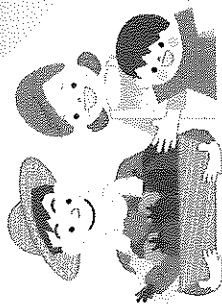
他の行政施策・部局と連携し
多様な住民ニーズに対応
(地域振興、多世代交流、福祉等)

重点事項(2)

地域との連携推進による
地域づくりの主導
(地域住民、NPO、社会教育
関係団体、学校等)

重点事項(3)

学びと実践の場としての機能強化



「地域の学びと実践プラットフォーム」構築に向けた重点事項(社会教育施設関係)

重点事項(1)

他の行政部局・施策と連携し、多様な住民ニーズに対応

(地域振興、多世代交流、福祉等)

○地域づくり(地域振興)を始めとする他の行政施策・部局とのタイアップを推進

(連携の例)

【放課後児童健全育成事業】放課後児童クラブ等を公民館で実施。

【地域運営組織】公民館活動を母体とした地域運営組織の取組(子育て交流、学習支援等)や支援措置等を周知。

【農村型地域運営組織(農村RMO)】中山間地域における農地保全や生活の支え合い等の活動を公民館と連携して実施。

【重層的支援体制整備事業】相談支援や交流の場など福祉分野における協働。

○社会教育人材ネットワークとの連携

・社会教育との連携が重要な部局の職員に社会教育主事講習の受講を推奨。

・公民館等で活用する社会教育士も、地域づくり施策への協力を努める。

○社会教育施設の複合化やPFIの活用による官民連携の推進

重点事項(2)

地域との連携推進による地域づくりの主導(地域住民、NPO、社会教育関係団体、学校等)

○地域住民による公民館運営への参画

・公民館運営における地域住民の意向を反映するため手引きの作成を検討。

・特に、若い世代の公民館に対する声の把握に努め、運営に反映。

○民間企業やNPO等との連携

・民間企業やNPO、町内会、PTA、子ども会等との協働により、公民館活動への多世代の参画を推進。

・企業と連携してリアルな体験活動等を推進。

・企業等との円滑な連携に向けて、営利的な活動との関係についての具体的事例を整理・周知。

○地域と学校等の連携・協働の推進

・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、

子供を中心として、幅広い地域住民等が地域で繋がる機会を提供。

重点事項(3)

学びと実践の場としての機能強化

○社会的包摂の実現に向けた学習支援

・公民館等の社会教育施設を拠点とした、社会教育人材のコーディネートにより、ICTやデジタルコンテンツ等も活用しながら、高齢者・障害者・外国人等のニーズに応じて生活に必要な学びを支援(福祉部局とも連携)。

・不登校や貧困等の課題をかかえる子供たちへの支援(地域学校協働活動や家庭教育支援チーム等と連携)。

○子供や若者の社会教育への参加促進

・若い世代の声を公民館の運営に反映するとともに、社会教育施設が子供や若者の学び合う場となり、こどもの居場所としての役割も果たせよう、具体的事例を周知。

○リカレント教育の検索サイト「マナパス」との連携

・社会教育での学びに加えて更に学びたい者が、大学等が提供する学習コンテンツの情報を得られるよう、リカレント教育の検索サイト「マナパス」等とも連携。

横断的事項

○重点事項(1)～(3)について「公民館の設置及び運営に関する基準」において明示することを検討。

○「優良公民館表彰」に年度毎の重点分野を設定し、その優良取組事例を収集・横展開。

○国で社会教育を一層推進するための体制の検討・整備を進めるとともに、実際の課題解決事例を参考に、各自治体の取組が進むようアドバイスする体制を検討。その一環として、社会教育マイスター(仮称)を創設(再掲)。

○社会教育におけるEBPMの推進(再掲)。

○デジタルとリアル双方の教育機会の提供による「つながりづくり」

・デジタル技術の活用等、公民館等のデジタル化を推進。

・デジタルリテラシーの学習機会を提供。

・地域住民同士がリアルに繋がる場も提供。

○社会教育人材ネットワークとの連携

・社会教育士の公民館等への配置や公民館主事等の専門性向上

(資格取得促進)。

・社会教育士それぞれの強みを活かせる協力を要請。

千葉県生涯学習推進方針の概要

方針の趣旨

人生100年時代・Society5.0の到来、社会的包摂の必要性の高まりなど、生涯学習をめぐる環境が大きく変化する中で、県民一人一人が、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を生かし、生涯にわたり活躍し続けられる社会の実現を図るため、本県における生涯学習を推進するための方針を定めるもの。

位置づけ

「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」及び「千葉県教育振興基本計画」の趣旨を踏まえ、県民の生涯学習に関する施策を、総合的かつ計画的に推進するもの。

方針の期間

令和5年度から14年度までの10年間（今後、5年を目途に見直しを予定）

第1章 千葉県の現状と課題

生涯学習をめぐる現状認識

○社会情勢

- ・人生100年時代の到来 職場や職種の転換の機会が増え、学び直しの機会の充実が必要。地域活動などの社会貢献も生涯学習の重要な要素。
- ・Society5.0に向けて 技術革新が急速に進み、社会の劇的な変化に対応する学び直しが必要。特に産業界では、新たな知識や技能に関する学び直しの充実が求められている。また、学びの機会の充実には、ICTなどの先端技術の利活用が必要。デジタルデバイド解消も必要。
- ・社会的包摂の必要性 SDGsの国際目標「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を促進」の実現には、多様な主体との連携・協働が必要。

○生涯学習の状況

- ・生涯学習をしたことが無い人の割合が高い。（約4割から5割程度）
- ・学習に際しての課題は時間や場所等の制約が最も多く、ICT等の活用による課題解決が求められている。
- ・学習ニーズは、趣味や教養に関する学びが多い。近年は職業などにつながる学びが高まっている。[H4 18%→H27 28%]

千葉県における生涯学習推進の現状と課題

学びの場の提供

- 趣味・教養・社会貢献等の学びは、県や市町村の社会教育機関及び民間教育機関において充実。
- 職業につながる学びは、大学や職業訓練機関等により、専門的・実践的な学びを提供。
- 県、市町村の社会教育機関においても、学びのきっかけづくりや、専門的・実践的な学びへの接続に関する取組が必要。
- ICTなどの先端技術を活用した学びが必要。

学びに関する情報提供

- 県、市町村及び民間の教育機関が、各々の学習情報を提供。総合的な学習情報の提供と、学習者の要望に応じた学びを案内する体制の整備が必要。

- 学び直しの適切な評価が行われる環境づくりが必要。

- 学習履歴を記録する「生涯学習パスポート」（県教育委員会発行）の普及が必要。

- 県や市町村の社会教育機関及び民間教育機関は、各機関が講座提供等の際に、必要に応じ連携。生涯学習を総合的かつ効果的に推進するための、連携体制の整備が必要。

第2章 生涯学習推進の方向性

生涯学習推進の目標

「社会とつながる生涯学習」

～いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現～

実現のための視点

- 生涯にわたる社会での活躍の推進
- 県・市町村・民間による役割分担と相互の連携・協働
- ICT活用を含めた適切な方法による学習の推進

生涯学習推進の方向性

県民一人一人が地域社会での活躍や産業人材としての活躍を続けられるよう、官民連携により、県全体で生涯学習を推進する。

柱	項目	県の役割	市町村に期待する役割	民間への期待
多様な学習機会の充実	学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味・教養等の学び 市町村・民間で実施困難な取組を全県的に提供 ・職業につながる学び 学び直しの動機付け、専門的・実践的な学びに接続する講座の提供 ・県民の学習意欲の喚起 ・オンラインを含む様々な方法を選択し、効果的に学習機会を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味・教養等の学びの充実 ・障害者の学び支援につながる取組を拡大 ・デジタルデバインド解消につながる学習機会の充実 ・キャリア教育等の職業につながる講座の提供、専門書籍の活用 ・オンライン環境の整備・講座の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ＜企業、民間教育機関、NPO・団体等＞ ・各機関、団体の特性を生かした学習機会の充実 ＜高等教育機関＞ ・専門的なりカレント教育の充実 ・教育・研究成果を活用した公開講座の充実 ＜企業＞ ・学びたい人が学べる環境の整備
学習環境の充実	多様な学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・民間・市町村と連携し、幅広い学習情報の収集・体系化・提供 ・情報提供システムの、様々な場面での周知・活用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・県への学習情報の提供、県に集約化された学習情報の活用 ・身近な住民からの学習相談体制の整備（相談内容に応じて県の窓口につなぐ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・県への学習情報の提供、県に集約化された学習情報の活用 ＜高等教育機関、民間教育機関、NPO・団体等＞ ・学習者からの学習相談への対応（相談内容に応じて県の窓口につなぐ）
学習成果を社会に生かす仕組みづくり	学習者と社会をつなぐ仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・経験やスキルを的確に示すツール「生涯学習パスポート」の機能充実、社会における適切な評価に活用 ・産業界での評価には、「ジョブ・カード」など既存の仕組みにつなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習パスポート」の情報を活用し、その人材を地域での活躍の場につなぐ ・地域における生涯学習を支える人材として活用 	<ul style="list-style-type: none"> ＜企業＞ ・社員の学び直しの成果を適切に評価する体制の整備 ＜NPO・団体等＞ ・各主体における生涯学習を支える人材の活用
連携・協働体制の構築	生涯学習を支える人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進に関する県と市町村の包括的な連携体制の構築 ・リカレント教育に関する産学官の連携体制の構築 ・地域課題に応じた幅広い分野の連携体制構築の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じた幅広い分野との連携・協働体制のさらなる充実 ・県の研修の活用、地域課題に対応した研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ＜企業、高等教育機関、民間教育機関、NPO・団体等＞ ・各主体の教育資源を活用し、公共機関等と連携 ＜NPO・団体等＞ ・団体間の連携・協働の充実 ＜NPO・団体等＞ ・指導者の育成の充実
社会教育人材育成の充実	社会教育人材育成の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事・社会教育士の育成や活用の促進・支援 ・社会教育関係者の研修の体系化、効果的な実施 		

【生涯学習に関する相談】

県の生涯学習センターにおける学習相談については、図書に関する相談が最も多く、次いでボランティアに関する相談が多いです。講座やサークルを探しているなど、学習に関する相談は少なくなっています。

＜さわやかちば県民プラザにおける学習相談状況 (R3実績)＞

相談種別	相談件数
図書に関する相談	897件
ボランティアに関する相談	406件
講座やサークルに関する相談	128件

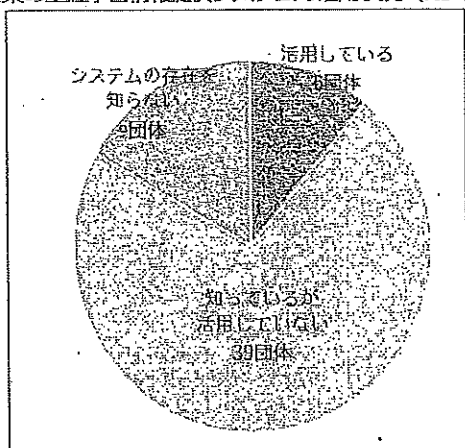
② 市町村の取組

【生涯学習情報の提供】

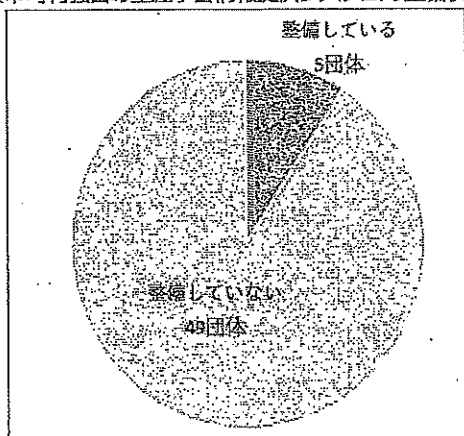
県の情報提供システムの活用は全54団体中6団体です。また、市町村独自のシステムにより住民への情報提供を実施している市町村は5団体と少ない状況です。

県民の多くは、市町村内の住民等を対象とした講座等の情報を、自治体広報誌や市町村ホームページから得ていると考えられます。

＜県の生涯学習情報提供システムの活用状況 (R2市町村聞き取り調査)＞



＜市町村独自の生涯学習情報提供システムの整備状況 (R2市町村聞き取り調査)＞



(2) 学びに関する情報提供

ア 取組の現状

① 県の取組

【生涯学習情報の提供】

県関係機関や市町村の実施する講座、大学等の実施する公開講座などの講座情報等をデータベース化し、インターネットを通じて提供しています。講座イベント情報の内容は、教養的・趣味的な講座等や健康に関する講座等が半数以上を占め、職業や地域活動につながる講座等の情報は少なくなっています。

情報提供システムのページビューは月平均8,000回程度となっており、県民による閲覧、活用が十分でない状況です。

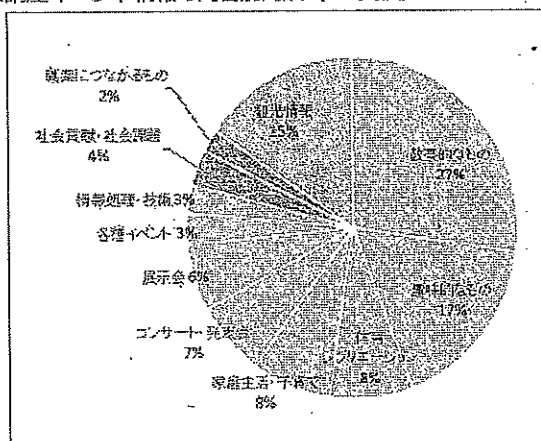
情報提供元の主体は、市町村(33市町/54市町村)が最も多く、大学等(10校/県内50校)の情報が少なく、情報提供について連携しているのは12機関・施設(令和3年度実績)と少ない状況です。

また、講師情報や団体サークル情報は、定期的な更新が行えておらず、施設情報は、社会体育施設のみとなっています。

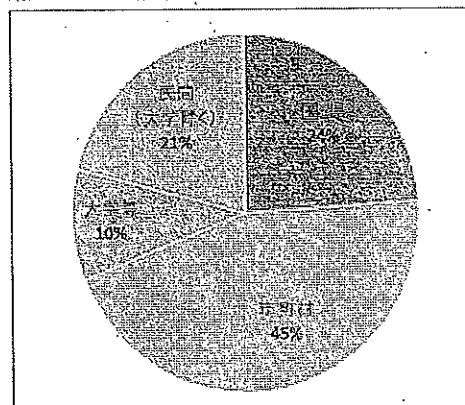
<県の生涯学習情報提供システムの状況(R3実績)>

分類	内容	登録件数
講座イベント情報	各種講座、コンサート、展示会、ハイキング等	5,043件
講師情報	講座の講師やボランティア	988件
団体サークル情報	各市町村の公民館などで活動するサークル	493件
施設情報	県立公立社会体育施設	1,304件
ボランティア情報	ボランティア募集やボランティア講座	137件
合計		7,965件

<講座イベント情報の内容別内訳(R3実績)>



<講座イベント情報の情報提供元主体別内訳(R3実績)>



イ 課題

① 県の課題

【生涯学習情報の提供】

県は情報提供システムを運用しているものの、十分に活用されておらず、県民への周知や利便性の向上が必要です。また、生涯学習に関する情報を総合的に提供することができておらず、特に、大学等や民間教育機関（リカレント教育分野）の学習情報や補助制度の情報が足りていない状況です。また、県の情報提供システムでは、必ずしも最新の情報が提供できていません。今後、市町村、大学等と連携し、幅広い情報収集と整理の上での提供が必要です。

【生涯学習に関する相談】

市町村における学習相談体制の整備状況について把握できていないという課題があります。県における学習相談体制はあるものの、十分に活用されていないため、学習者の希望（自身の教養を高める、仲間をつくる、職業に生かす、地域活動に生かす等）に合った学習相談体制の整備が必要です。なお、リカレント教育に関する相談体制も併せて必要です。

② 市町村の課題

【生涯学習情報の提供】

県の情報提供システムの集約化を図るため、市町村の実施する講座・学級、市町村の把握する講師等の県への情報提供が求められます。

また、県、大学等で開催される情報が県民に届いておらず、県の情報提供システムを活用していない48団体の住民は、市域を越えた生涯学習に関する情報を得る機会を失っている可能性があります。

【生涯学習に関する相談】

身近な住民からの学習相談への対応、相談内容に応じて県の相談体制につなぐことが求められます。

③ 民間の課題

【生涯学習情報の提供】

県の情報提供システムの集約化を図るため、各事業者及び団体等の実施する講座等の、県への情報提供が求められます。

【生涯学習に関する相談】

学習者からの相談に対応し、その内容に応じて県の相談体制につなぐことが求められます。

3 千葉県における生涯学習推進の方向性

生涯学習推進の目標を実現するためには、3つの視点を踏まえ、推進の柱を「多様な学習機会の充実」「学習に関する情報提供・相談の充実」「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」「多様な主体との連携・協働の推進」とし、今後の生涯学習の推進を図ります。

<推進体系>

推進の目標

社会とつながる生涯学習

～いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現～

実現のための視点

- 生涯にわたる社会での活躍の推進
- 県・市町村・民間による役割分担と相互の連携・協働
- ICT活用を含めた適切な方法による学習の推進

施策の方向性

< 推進の柱 >

< 推進項目 >

多様な学習 機会の充実

- 学習機会の充実
趣味・教養、社会貢献等の学び
職業上必要な知識等を習得する学び
- 学習環境の充実

学習に関する 情報提供・ 相談の充実

- 多様な学習情報の提供
- 社会での活躍につながる学習相談

学習成果を 社会に生かす 仕組みづくり

- 学習者と社会をつなぐ仕組みの構築
- 学習成果の適切な評価
- 生涯学習を支える人材の活用

多様な主体 との連携・ 協働の推進

- 連携・協働体制の構築
- 社会教育人材育成の充実

(1) 多様な学習機会の充実

ア 学習機会の充実

① 県の役割

趣味・教養、社会貢献等の学びは、市町村や民間において充実していることから、県では、広範な連携を必要とするなど市町村では実施困難な取組や、民間では実施の見込めない講座等を、オンラインを活用し全県的に提供するとともに、ICTの活用などの先進的な学習方法の開発及び市町村への普及に取り組みます。

また、社会的包摂の観点から、障害者や情報弱者などの社会への参加を保障するための様々な学習機会が全県に広がるよう、市町村での実施を見据え、適した学習方法の開発や、公民館等における講座の開講支援等を行います。

職業上必要な知識等を習得する学びについては、教育委員会では、各業種の概観や各自のキャリア形成等を学ぶ、学び直しの動機づけとなる講座を提供し、行政または民間により実施される職業訓練や、大学等で実施される高度・専門的な教育への接続を図ります。

また、県内企業における社員の学習時間の確保や費用負担の軽減など、社員の学び直しに対する支援状況を把握することで、リカレント教育の推進につなげていきます。

さらに、県内各地の優れた事例等について、表彰による奨励や情報提供、関係者がノウハウを共有する機会等の充実を図ります。

多様な学習機会の充実には、市町村はもとより民間による取組も重要です。教育分野における社会貢献活動を行う企業等の登録制度を活用し、企業等の教育資源を活用した県民への学習機会の提供などを促進します。

② 市町村に期待する役割

趣味・教養、社会貢献等の学びは、市町村公民館や図書館を中心とした多様な機関で提供されており、今後も、地域の特色、住民ニーズに合わせた身近な学びの充実が期待されます。

また、社会的包摂の観点から、障害者の生涯学習の推進を生涯学習・社会教育施策として位置付けた上での、障害者の学び支援につながる取組の拡大、デジタルデバイド解消につながる学習機会の充実を期待します。

職業上必要な知識等を習得する学びは、公民館や図書館において、キャリア形成や基礎的なビジネススキル等の講座や専門書籍を活用した学びが提供されることを期待します。

さらに公民館等は、地域の学習拠点としての役割に加え、地域の実情に応じ、子供の居場所としての活用や住民相互の学び合い・交流の促進などの地域コミュニティ拠点機能の強化、PC等の機器導入やWi-Fi環境整備等のデジタル基盤の強化などが期待されます。

③ 民間への期待

(ア) 企業への期待

- ・教育分野における社会貢献として、各企業の特性を生かした学習機会の充実が期待されます。

(イ) 高等教育機関への期待

- ・職業実践力育成プログラム等の専門的なリカレント教育の充実が期待されます。
- ・教育、研究成果を活用した公開講座の充実が期待されます。

(ウ) 民間教育機関への期待

- ・各機関の特性を生かした、実践的なリカレント講座の提供が期待されます。
- ・個人のニーズに合わせた、趣味、教養、資格取得などの多様な学習機会の充実が期待されます。

(エ) NPO・団体等への期待

- ・各団体の特性を生かした多様な学習機会の充実が期待されます。

イ 学習環境の充実

① 県の役割

生涯にわたる学習は、生きがいの形成やキャリア形成に重要なものであり、県民の学習意欲の喚起を図ることが必要です。このため、あらゆる学習履歴を記録できる「生涯学習パスポート」の普及のほか、学習成果を生かす場となる地域社会や産業界への学習の重要性の理解促進を図ります。

また、県民の生涯学習状況や、学習需要等の個人の要望を把握するとともに、社会経済情勢の変化等、社会の要請の把握に努めます。さらに、これらを市町村や民間と共有し、多様な学習機会の充実を図ります。

学習活動に関するデジタル化やオンライン化の取組の進展を踏まえ、これまでの集合形式での学習に加え、オンラインを含む様々な方法を、学習内容や目的に合わせて選択するなど、効果的な学習機会の提供を推進します。

② 市町村に期待する役割

公民館等の社会教育施設におけるオンライン環境の整備やオンライン講座の充実、個人学習の場の充実が期待されます。

③ 民間への期待

(ア) 企業への期待

- ・企業におけるリスキリングの必要性が高まる中で、学びたい人が学べるよう、時間面や費用面などの環境の整備が期待されます。

(2) 学習に関する情報提供・相談の充実

ア 多様な学習情報の提供

① 県の役割

県民が自らの学習目的に沿った学びを適切に選択できるよう、趣味・教養、社会貢献等の学びから職業上必要な知識等を習得する学びまで、多様で幅広い学習情報を収集し、県民に学習情報を提供する体制の充実を図ります。情報の提供に際しては、学ぶ目的や得られる学習成果などにより体系化し、学習の意欲喚起につながるよう配慮するとともに、インターネットを活用した情報提供システムの充実や利便性の向上など、どの地域においても生涯学習の情報を容易に入手できる環境を整備します。

特に、職業につながる学びについては、補助制度などの学習支援情報についての提供も併せて行います。

また、県内各地の大学等や民間教育機関、NPO・団体等及び市町村と連携協力し、学習情報の収集・提供を行うとともに、各地域に出向いて広報するなど、情報提供システムを様々な場面で県民に周知し、活用の促進を図ります。

② 市町村に期待する役割

社会教育施設等の、域内の生涯学習に関する講座等の情報を県に提供するとともに、県で集約整理された多様な学習情報の活用により、地域住民への情報提供体制の充実を図るとともに、県の情報提供システムを住民へ周知し、活用が促進されることを期待します。

③ 民間への期待

(7) 高等教育機関、民間教育機関、NPO・団体等への期待

・各機関の実施する生涯学習に関する講座等の情報を県に提供するとともに、県で集約整理された多様な学習情報の活用により、学習者への情報提供体制の充実が期待されます。

イ 社会での活躍につながる学習相談

① 県の役割

県民の学びが、地域社会での活動や産業人材としての活躍につながるよう、社会教育士やキャリアコンサルタントの資格を有した専門相談員を活用し、「学び」と「キャリア形成」の両方の視点により、学習者の要望に応じた最適な学びを案内する体制の構築を図ります。また、学習相談に際しては、個々の目的に合わせた学習機会や補助制度の案内、学習成果活用に向けた関係機関への接続などの伴走型支援により、学習者を継続的に支援します。

また、学習相談は対面のみならずオンラインを積極的に取り入れ、支援の地域差が可能な限り小さくなるよう配慮します。

さらに、学習相談にあたる県職員及び専門相談員は、本県の最新の社会動向の把握に努め、継続的に支援スキルの維持・向上を図ります。

「学びの総合窓口」を構築し、社会での活躍につなげる学習相談体制とともに、体系化した多様な学習情報の提供を一体的に運用することにより、対話を通じた要望の正確な把握や潜在的ニーズの発見など、個々の学習目的を明確化し、各々に適した学習機会や補助制度などを総合的に案内する体制を整えます。

また、市町村等の地域における学習相談体制の整備を支援するとともに、「学びの総合窓口」を中核とし、地域の相談窓口と連携することで、県民の学習を幅広く支援していきます。

② 市町村に期待する役割

身近な住民からの学習相談に対応する体制を整えるとともに、相談内容に応じて県の「学びの総合窓口」へつなぐことが期待されます。また、適宜、県の窓口を身近な住民に周知することが期待されます。

③ 民間への期待

(7) 高等教育機関、民間教育機関、NPO・団体等への期待

- ・学習者からの学習相談に対応するとともに、相談内容に応じて県の「学びの総合窓口」へつなぐことが期待されます。また、適宜、県の窓口を学習者に周知することが期待されます。

(3) 学習成果を社会に生かす仕組みづくり

ア 学習者と社会をつなぐ仕組みの構築

「(2) イ 社会での活躍につながる学習相談」に同じ。

イ 学習成果の適切な評価

① 県の役割

県民の学びを社会における活躍につなげるには、学びの成果が地域社会や産業界において適切に評価されることが重要であり、そのためのツールが必要となります。

これには、県民があらゆる学習履歴を記録できる「生涯学習パスポート」が有効なツールとして期待でき、それぞれの活動場所において必要とされる経験やスキルを的確に示せるようにすることが必要です。分野別に学習履歴を整理して記録できるようにするほか、資格等の学習成果を記録できるようにするなどの機能充実を図ります。

産業界における適切な評価には、「生涯学習パスポート」に記録した学習履歴を基に、必要な情報を整理して「ジョブ・カード^(※9)」に転記し就職活動等に活用するなど、既存の仕組みにつなぎ、それぞれの役割の連携を図ります。

また、「生涯学習パスポート」が県民に広く普及、活用されるよう、市町村等との連携や、各地域に出向いて広報するなど、県民へのさらなる周知・普及を図ります。加えて、県内企業における学び直しの評価状況の実態把握を行うとともに、「ジョブ・カード」などの企業等での活用を含め、産学官の連携により学び直しの適切な評価を促進します。

さらに、県民が「生涯学習パスポート」を入手、活用しやすくするとともに、国や社会の状況変化に対応できるよう、「生涯学習パスポート」のデジタル化など、その機能充実や運用方法について検討と検証を続けます。

② 市町村に期待する役割

「生涯学習パスポート」を住民に周知し、学習履歴の記録を促すことが期待されます。また、当該パスポートの情報（学習履歴やスキル）を活用し、その人材を地域での活躍の場につなげていくことが期待されます。

③ 民間への期待

(ア) 企業への期待

・社会の変化が激しく、職場や職種の転換の機会が増える中、社員の学び直しの成果を適切に評価する体制の整備が期待されます。

(※9)厚生労働省が様式を定め広く普及を進める、「生涯を通じたキャリア・プランニング」及び「職業能力証明」の機能を担うツールで、キャリアプラン、職務経歴、職業能力証明（免許・資格、学習歴・訓練歴、訓練成果・実務成果）を記載することができる。キャリアコンサルティングなど相談支援の場面でも用いられ、学生・在職者・求職者など幅広い方の求職活動やキャリア形成に役立つ。

ウ 生涯学習を支える人材の活用

① 県の役割

学習成果を生かした地域社会での活躍を促進するため、講師力や企画力を養う講座を実施し、修了者を認証する制度などを通じ、地域における生涯学習を支える人材を育成します。

また、地域で講師役を担える人材の情報を広く収集し、活動実績や得意分野、社会教育士をはじめとした称号や資格などの情報を体系化して提供することで、求める人材を見つけやすくする取組を進めます。

② 市町村に期待する役割

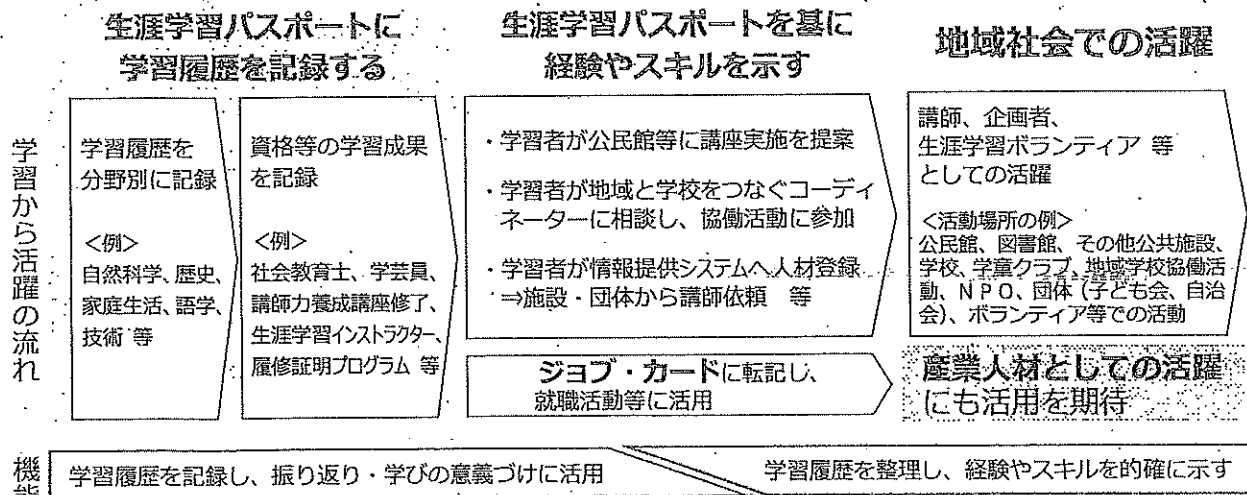
住民が適切に学習成果を生かせるよう、地域での活躍の場づくりを進めるとともに、生涯学習を支える人材の活用が期待されます。

③ 民間への期待

(ア) NPO・団体等への期待

関係者の学習成果を生かす、地域での活躍の場の充実と、生涯学習を支える人材の活用が期待されます。

<生涯学習パスポート等を活用した社会での活躍イメージ>



(4) 多様な主体との連携・協働の推進

ア 連携・協働体制の構築

① 県の役割

県民の学びの充実、学習成果を地域社会での活躍につなぐ取組について、県全体で一体的に推進するため、県と市町村の包括的な連携体制を構築し、地域における課題を共有した上で、生涯学習推進の取組を協議します。

また、県民の学びを産業人材としての活躍につなぐ取組についても、産学官で一体的に推進するため、行政・教育機関・企業等による連携体制を構築し、産業界のニーズを共有した上で、リカレント教育推進の取組を協議します。

地域における学習の場の充実には、社会教育施設や社会教育関係団体等の学びを支える主体の相互連携が必要であり、各々の取組を共有・理解し、相互に高め合えるよう、分野を問わない横の連携の構築を支援します。

特に、地域における課題の解決に向けた学習の場の充実には、その課題に応じた企業や福祉等の幅広い分野との連携が重要であり、それらの連携体制構築に向けた市町村等への支援を行います。

② 市町村に期待する役割

公民館をはじめとした社会教育施設や社会教育関係団体等の学びを支える主体の相互連携のほか、地域課題に応じた企業や福祉等の幅広い分野との連携・協働体制のさらなる充実が期待されます。

③ 民間への期待

(7) 企業、高等教育機関、民間教育機関、NPO・団体等への期待

・各主体の持つ教育資源を活用し、公共機関等と連携・協働することで、地域課題の解決に向けた学びの充実に貢献することが期待されます。

(4) NPO・団体等への期待

・地域における教育の質を高めるため、団体間の連携・協働の充実が期待されます。

イ 社会教育人材育成の充実

① 県の役割

地域における生涯学習の充実を図るため、市町村に対し、社会教育の中核を担う社会教育主事の適正配置や社会教育士の育成・活用を促進するとともに、社会教育主事や社会教育士のネットワーク化による活躍機会の拡充など、その取組を支援します。

また、社会教育関係者の資質を高め、地域における学習の充実を図るため、社会教育人材研修の体系を整えるとともに、地区別研修やオンライン活用など効果的な実施に努めます。

② 市町村に期待する役割

社会教育法により規定されている、教育委員会における社会教育主事の適正な配置や、公民館等への社会教育士の配置を進めることが期待されます。

また、県の社会教育人材研修の活用、市町村における地域課題に対応した研修の充実が期待されます。

③ 民間への期待

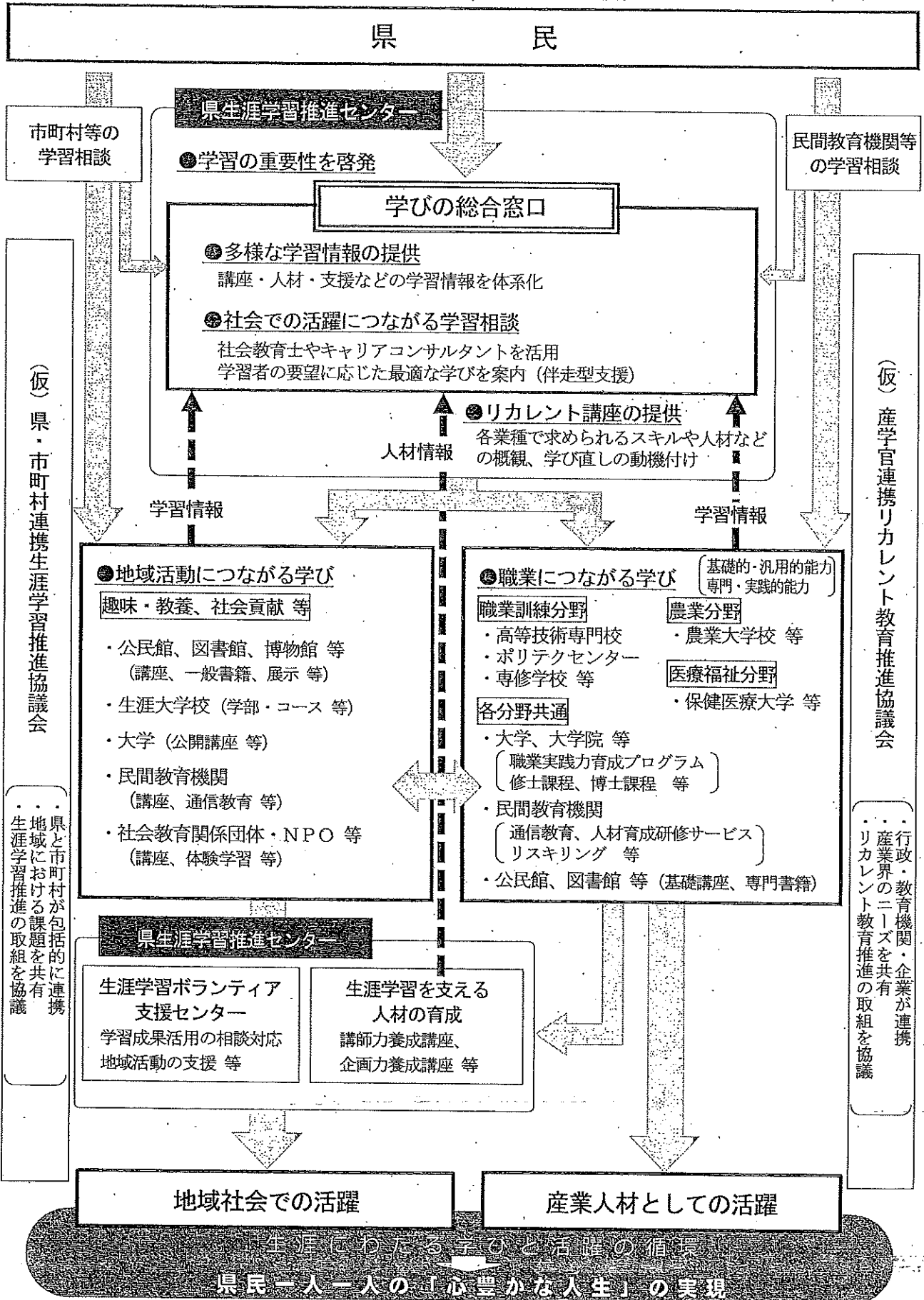
(7) NPO・団体等への期待

・地域における教育の質を高めるため、団体指導者の育成の充実が期待されます。

学び直しによる生涯にわたる活躍イメージ

県民の学びの流れ

情報の収集の流れ



四街道市市民意識調査報告書

【令和3年10月実施】

令和4年3月

四街道市

5. 四街道市のまちづくりについて

(1) 施策分野における現在の満足度及び今後の重要度

問10 あなたは、次の項目(1~23)について、どの程度満足されていますか。また、今後どのくらい重要だと思いますか。「現在の満足度」は、日ごろの印象や日常生活から、「これからの重要度」は、市全体のことをお考えいただきながら、あなたご自身のお考えに最もよくあてはまる「現在の満足度」と「これからの重要度」をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

■現在の満足度

「生活基盤」や「消防・救急」、「住環境」の満足度は高いが、「道路・交通」や「市街地形成」は不満度が高い

施策分野における現在の満足度について、満足度が高い(「満足」+「どちらかといえば満足」)施策分野は、「生活基盤」で39.5%と最も高く、次いで「消防・救急」35.5%、「住環境」31.4%、「子ども家庭支援」26.5%、「防犯・交通安全・消費者保護」25.4%となっています。

不満度が高い(「どちらかといえば不満」+「不満」)施策分野は、「道路・交通」で35.8%と最も高く、次いで「市街地形成」30.2%、「産業・就業支援」21.2%、「行財政運営」21.0%、「循環型社会」17.7%となっています。

図表 施策分野における現在の満足度

n=1,671 (単位: %)

	満足度 (満足+どちらか といえば満足)			どちらでも ない	不満度 (どちらかとい えば不満+不満)		
	満足	どちらかとい えば満足	不満		どちらかとい えば不満	不満	
子ども家庭支援	26.5%	2.7%	23.8%	54.8%	10.3%	7.4%	2.9%
高齢者支援	19.4%	1.5%	17.9%	62.4%	14.0%	10.6%	3.4%
障害者支援	14.1%	1.7%	12.4%	69.9%	9.5%	7.3%	2.2%
地域福祉	15.6%	1.5%	14.1%	66.9%	11.9%	9.5%	2.5%
健康づくり	21.5%	2.3%	19.2%	59.9%	13.8%	11.3%	2.6%
社会保障	14.3%	1.2%	13.1%	63.7%	16.3%	12.1%	4.2%
防災・減災	22.7%	2.3%	20.4%	56.3%	15.9%	12.9%	2.9%
消防・救急	35.5%	5.7%	29.9%	52.1%	7.7%	5.7%	1.9%
防犯・交通安全・消費者保護	25.4%	2.9%	22.5%	57.8%	11.8%	9.2%	2.6%
子ども教育	22.4%	2.2%	20.2%	60.7%	10.5%	7.6%	2.9%
生涯学習	13.0%	0.9%	12.1%	72.1%	9.2%	7.4%	1.9%
文化、スポーツ	15.2%	1.4%	13.8%	63.0%	16.0%	12.4%	3.6%
環境保全	20.3%	1.7%	18.6%	60.0%	13.7%	10.8%	2.9%
循環型社会	24.7%	2.8%	21.9%	52.2%	17.7%	14.1%	3.6%
住環境	31.4%	3.5%	27.9%	49.4%	13.8%	10.4%	3.4%
生活基盤	39.5%	7.2%	32.3%	42.9%	12.8%	9.1%	3.7%
道路・交通	18.9%	2.9%	16.0%	40.8%	35.8%	23.9%	11.9%
市街地形成	13.2%	2.2%	11.0%	51.5%	30.2%	21.1%	9.0%
産業・就業支援	9.5%	1.6%	8.0%	63.7%	21.2%	15.6%	5.6%
みんなで地域づくり	12.0%	1.3%	10.7%	74.1%	8.8%	6.8%	2.0%
シティセールス	6.8%	0.8%	6.0%	75.2%	13.0%	10.1%	3.0%
行財政運営	8.7%	0.8%	8.0%	64.9%	21.0%	14.7%	6.3%
共生社会	9.9%	1.3%	8.6%	77.0%	7.7%	5.3%	2.3%

※「無回答」は除いているため、合計値は100%にはならない。

図表 施策分野における現在の満足度
 (「満足」・「どちらかといえば満足」の合計が高い順)

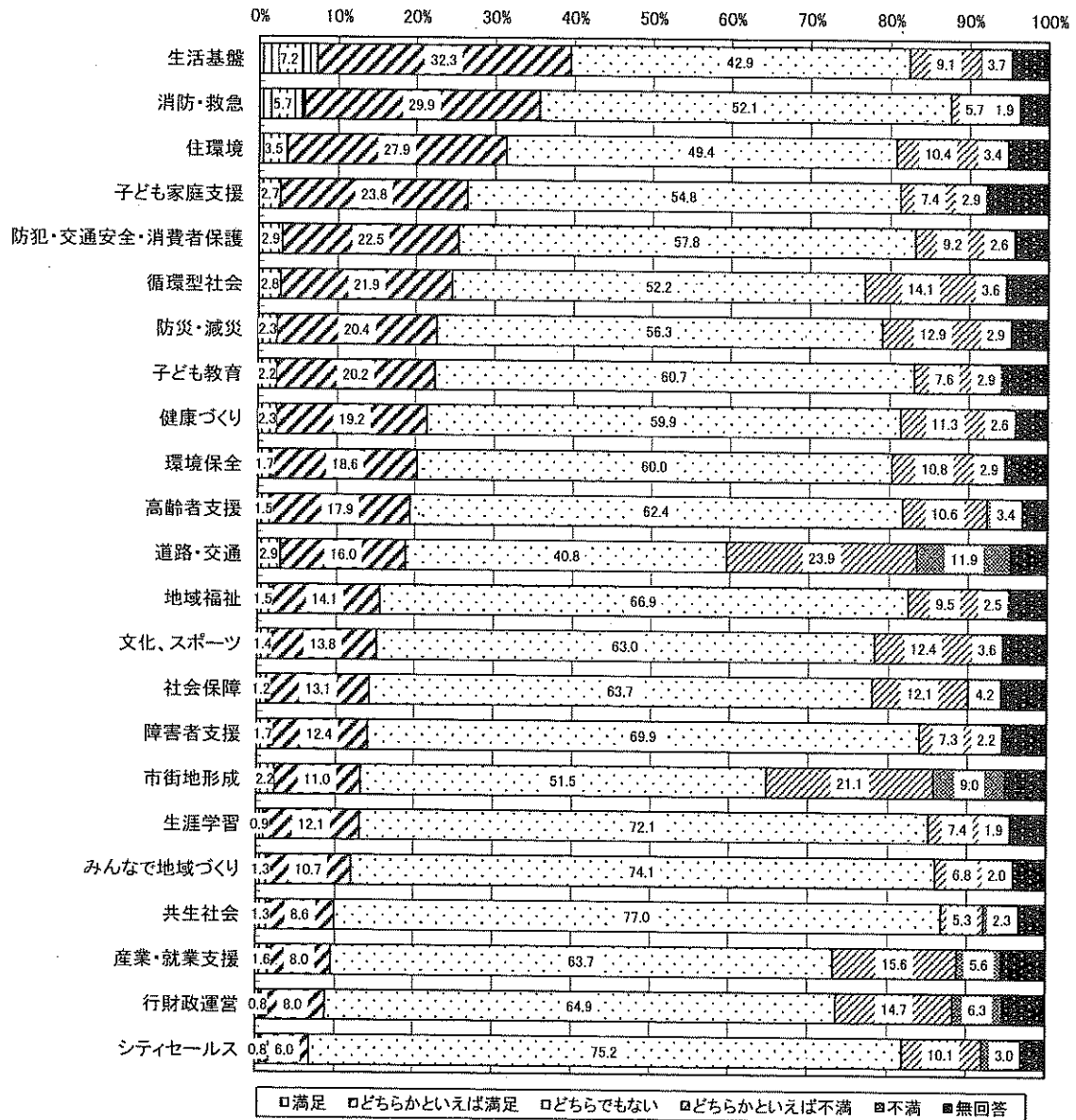


図 今後の重要度

「高齢者支援」や「防災・減災」、「消防・救急」、「道路・交通」

の重要度が高い

施策分野における今後の重要度について、重要度が高い（「重要」＋「まあ重要」）施策分野は、「高齢者支援」で82.9%と最も高く、次いで「防災・減災」81.9%、「消防・救急」81.6%、「道路・交通」81.0%となっています。このうち「消防・救急」は、現在の満足度、今後の重要度のいずれも相対的に高くなっています。

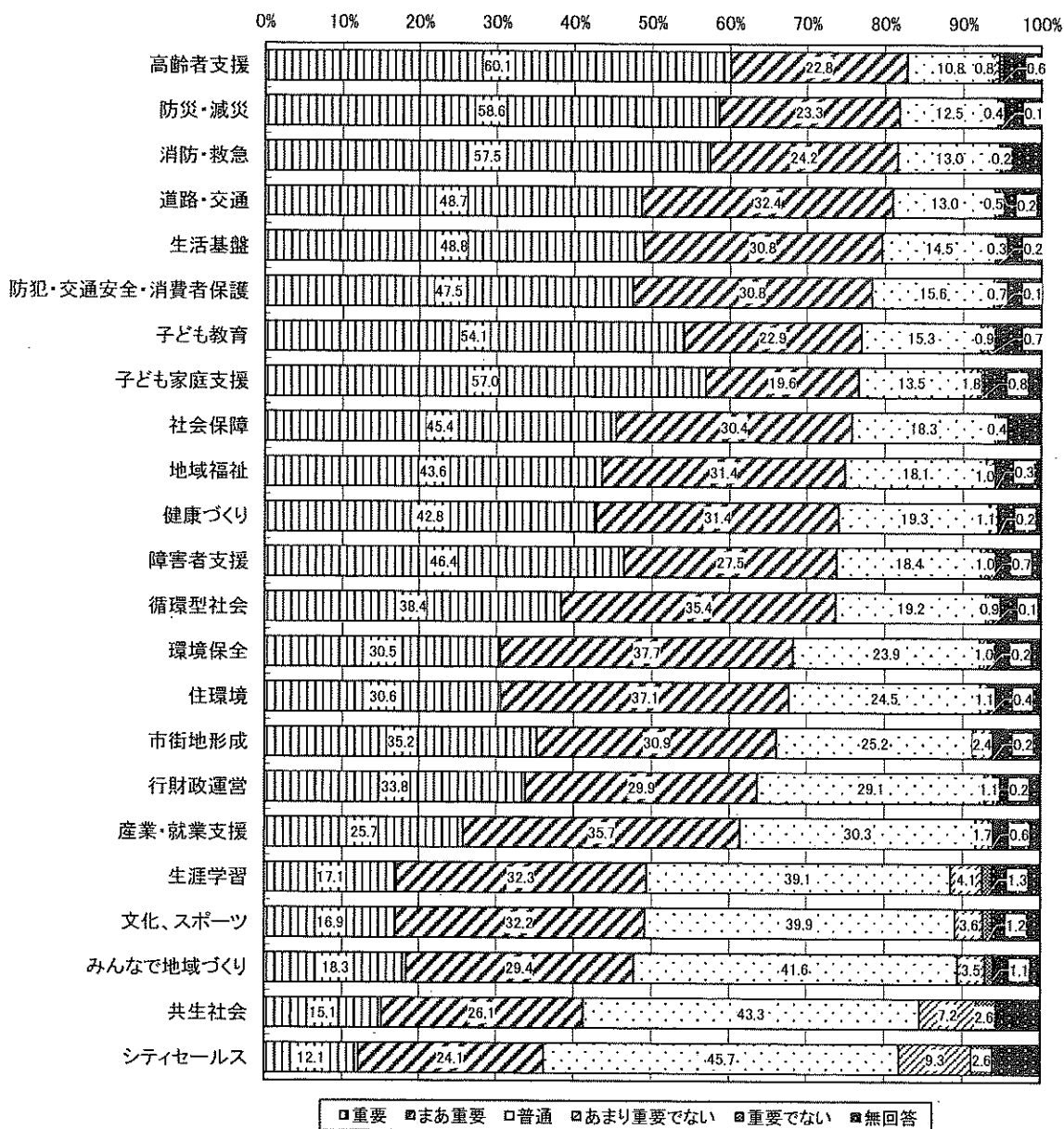
重要度が低い（「あまり重要ではない」＋「重要でない」）施策分野は、「シティセールス」で11.9%と最も高く、次いで「共生社会」9.8%、「生涯学習」5.3%となっています。

図表 施策分野における今後の重要度

	重要度(高) (重要+どちらか といえば重要)	重要度が高い		普通	重要度(低) (重要でない+あ まり重要でない)		
		重要	まあ重要		重要でない	あまり重要でない	
子ども家庭支援	76.6%	57.0%	19.6%	13.5%	2.6%	0.8%	1.8%
高齢者支援	82.9%	60.1%	22.8%	10.8%	1.4%	0.6%	0.8%
障害者支援	73.8%	46.4%	27.5%	18.4%	1.6%	0.7%	1.0%
地域福祉	74.9%	43.6%	31.4%	18.1%	1.3%	0.3%	1.0%
健康づくり	74.1%	42.8%	31.4%	19.3%	1.3%	0.2%	1.1%
社会保障	75.8%	45.4%	30.4%	18.3%	0.4%	0.0%	0.4%
防災・減災	81.9%	58.6%	23.3%	12.5%	0.5%	0.1%	0.4%
消防・救急	81.6%	57.5%	24.2%	13.0%	0.2%	0.0%	0.2%
防犯・交通安全・消費者保護	78.3%	47.5%	30.8%	15.6%	0.8%	0.1%	0.7%
子ども教育	77.0%	54.1%	22.9%	15.3%	1.6%	0.7%	0.9%
生涯学習	49.4%	17.1%	32.3%	39.1%	5.3%	1.3%	4.1%
文化、スポーツ	49.1%	16.9%	32.2%	39.9%	4.8%	1.2%	3.6%
環境保全	68.2%	30.5%	37.7%	23.9%	1.2%	0.2%	1.0%
循環型社会	73.7%	38.4%	35.4%	19.2%	1.0%	0.1%	0.9%
住環境	67.7%	30.6%	37.1%	24.5%	1.5%	0.4%	1.1%
生活基盤	79.6%	48.8%	30.8%	14.5%	0.5%	0.2%	0.3%
道路・交通	81.0%	48.7%	32.4%	13.0%	0.8%	0.2%	0.5%
市街地形成	66.1%	35.2%	30.9%	25.2%	2.6%	0.2%	2.4%
産業・就業支援	61.4%	25.7%	35.7%	30.3%	2.3%	0.6%	1.7%
みんなで地域づくり	47.8%	18.3%	29.4%	41.6%	4.6%	1.1%	3.5%
シティセールス	36.2%	12.1%	24.1%	45.7%	11.9%	2.6%	9.3%
行財政運営	63.7%	33.8%	29.9%	29.1%	1.4%	0.2%	1.1%
共生社会	41.2%	15.1%	26.1%	43.3%	9.8%	2.6%	7.2%

※「無回答」は除いているため、合計値は100%にはならない。

図表 施策分野における今後対するこれからの重要度
 (「重要」・「まあ重要」の合計が高い順)

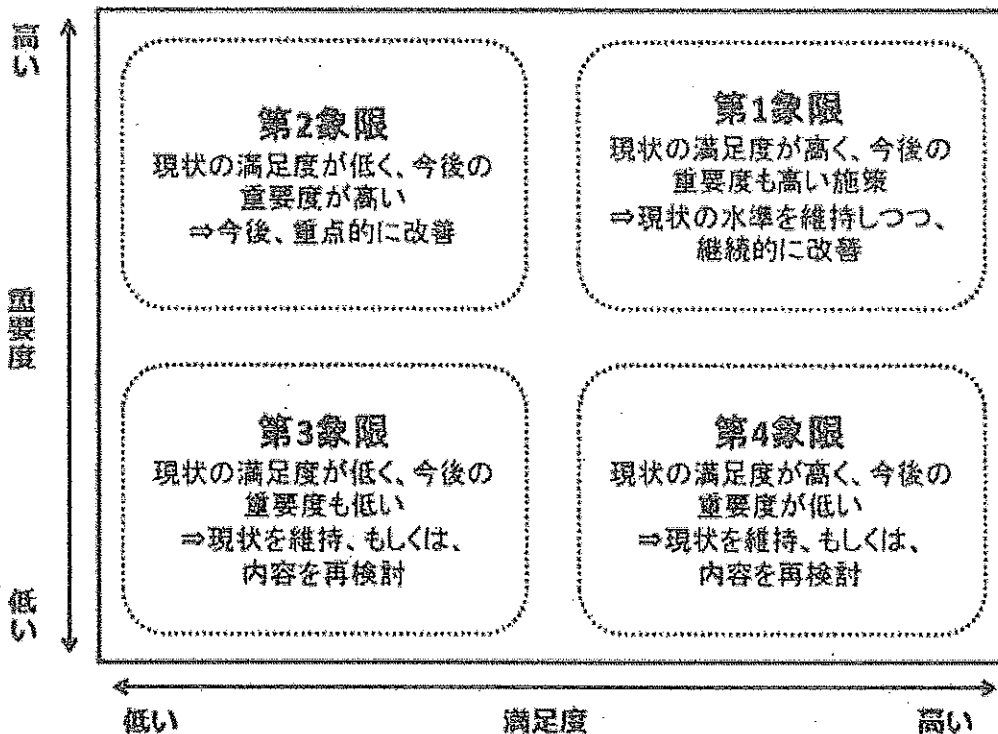


加重平均値に基づく評価

図表 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均の得点

現在の満足度		今後の重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
満足	5.0	重要	5.0
どちらかといえば満足	4.0	まあ重要	4.0
どちらでもない	3.0	普通	3.0
どちらかといえば不満	2.0	あまり重要ではない	2.0
不満	1.0	重要でない	1.0

図表 満足度・重要度散布図の概念



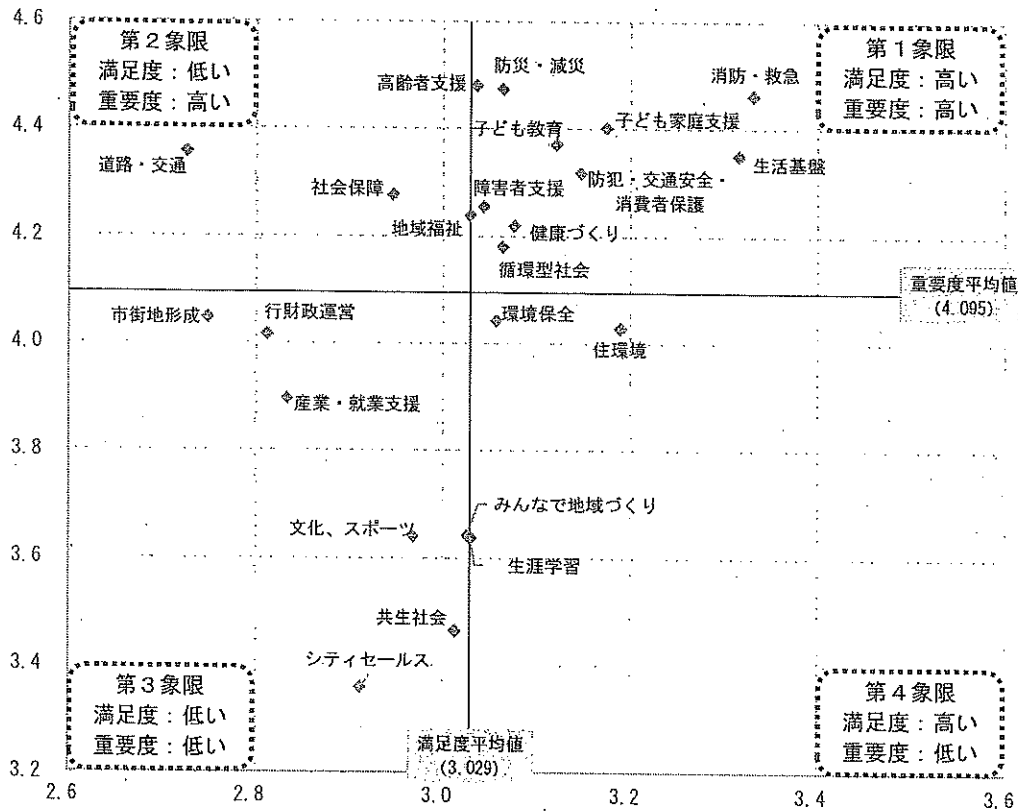
※「加重平均値」とは、満足度・重要度の水準を相対的に表すために、満足度・重要度の各々の段階に重みを設定し、重みを考慮した平均値を算出することを表します。本調査では満足度・重要度の5段階に各々5点、4点、3点、2点、1点という重みを設定し、例えば5段階各々に回答した人数が、 w_1 、 w_2 、 w_3 、 w_4 、 w_5 であった場合、加重平均値は以下の式で表されます。

$$(\text{加重平均値}) = \frac{5 \text{点} \times w_1 + 4 \text{点} \times w_2 + 3 \text{点} \times w_3 + 2 \text{点} \times w_4 + 1 \text{点} \times w_5}{w_1 + w_2 + w_3 + w_4 + w_5}$$

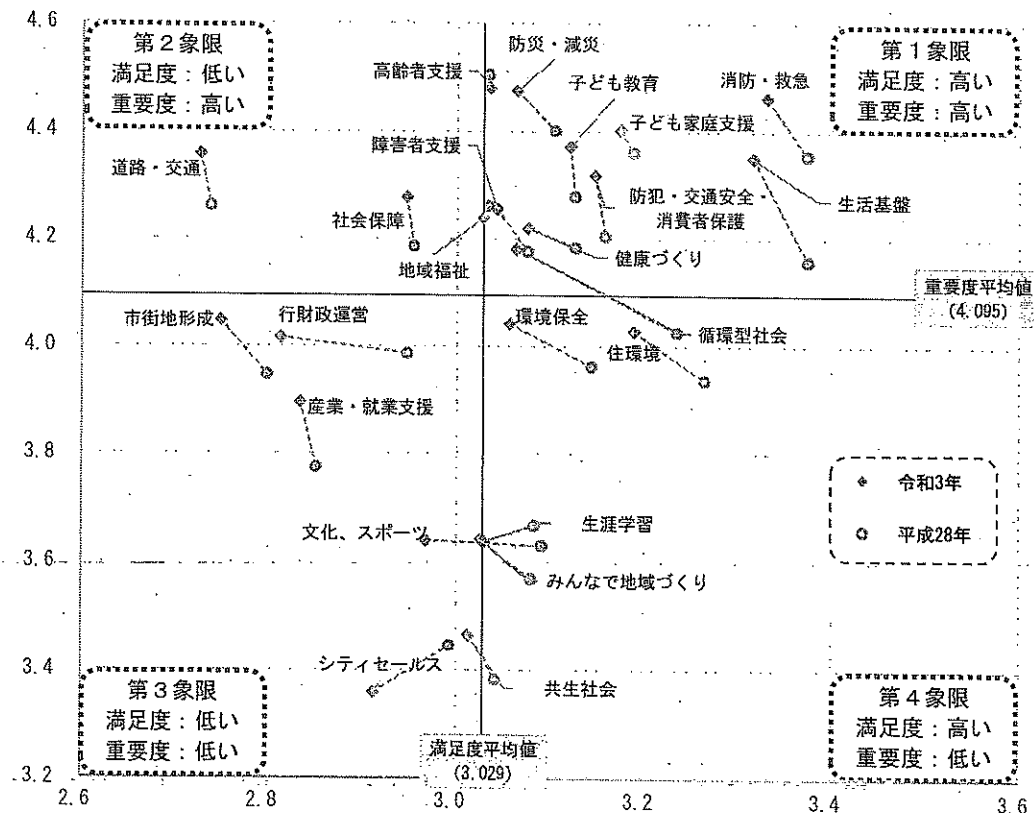
図表 加重平均値に基づく評価

	満足度平均値			重要度平均値		
	令和3年	平成28年	増減数	令和3年	平成28年	増減数
子ども家庭支援	3.174	3.188	△ 0.014	4.403	4.361	0.042
高齢者支援	3.036	3.035	0.001	4.481	4.505	△ 0.024
障害者支援	3.044	3.077	△ 0.033	4.256	4.177	0.079
地域福祉	3.029	3.035	△ 0.006	4.239	4.261	△ 0.022
健康づくり	3.077	3.127	△ 0.050	4.220	4.184	0.036
社会保障	2.946	2.954	△ 0.008	4.277	4.186	0.091
防災・減災	3.065	3.105	△ 0.040	4.475	4.401	0.074
消防・救急	3.332	3.375	△ 0.043	4.463	4.355	0.108
防犯・交通安全・消費者保護	3.147	3.158	△ 0.011	4.318	4.205	0.113
子ども教育	3.121	3.126	△ 0.005	4.372	4.279	0.093
生涯学習	3.030	3.084	△ 0.054	3.638	3.668	△ 0.030
文化、スポーツ	2.968	3.092	△ 0.124	3.640	3.631	0.009
環境保全	3.058	3.144	△ 0.086	4.043	3.963	0.080
循環型社会	3.065	3.235	△ 0.170	4.181	4.027	0.154
住環境	3.189	3.265	△ 0.076	4.029	3.938	0.091
生活基盤	3.317	3.376	△ 0.059	4.351	4.159	0.192
道路・交通	2.727	2.738	△ 0.011	4.357	4.261	0.096
市街地形成	2.749	2.798	△ 0.049	4.048	3.948	0.100
産業・就業支援	2.833	2.850	△ 0.017	3.897	3.776	0.121
みんなで地域づくり	3.026	3.081	△ 0.055	3.643	3.570	0.073
シティセールス	2.911	2.993	△ 0.082	3.360	3.446	△ 0.086
行財政運営	2.812	2.947	△ 0.135	4.017	3.987	0.030
共生社会	3.013	3.043	△ 0.030	3.465	3.384	0.081
全体平均	3.029	3.079	△ 0.050	4.095	4.029	0.066

図表 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均値



図表 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均値 (H28→R3比較)

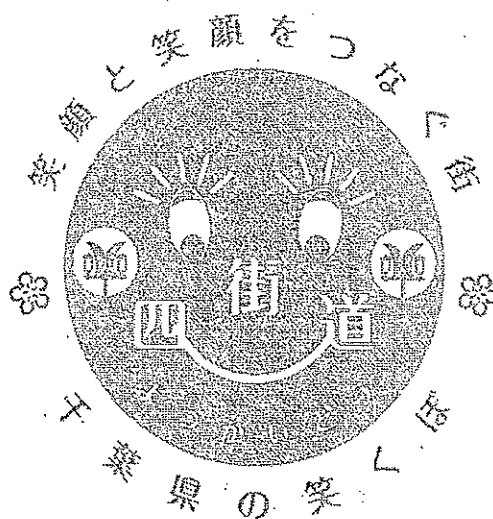


第2期四街道市教育振興基本計画策定に係る

アンケート調査報告書

【令和4年6月実施】

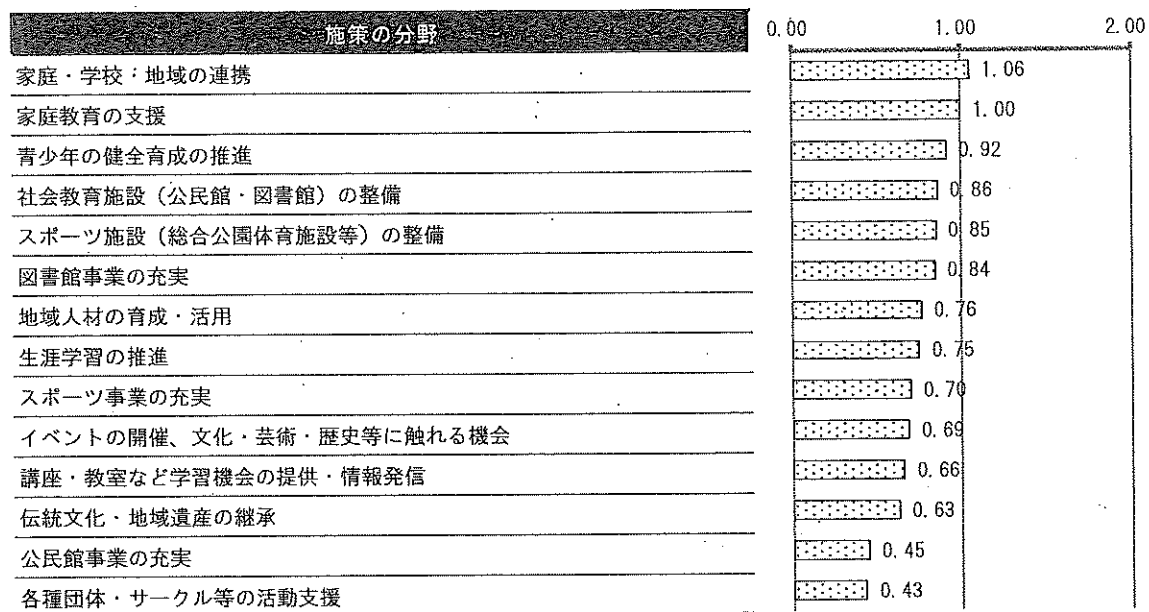
(概要版)



四街道市教育委員会

(3) 市民が重要視する施策の分野

- 1位 家庭・学校・地域の連携
- 2位 家庭教育の支援
- 3位 青少年の健全育成の推進



とても重要＝2ポイント、重要＝1ポイント、ふつう＝0ポイント、あまり重要ではない＝-1ポイント、重要ではない＝-2ポイントに換算して集計しています。

9. 生涯学習の状況

- ・生涯学習活動に『取り組んでいる』人は約7割（74.6%）。
- ・平成29年調査と比較すると、生涯学習活動に『取り組んでいる』人は+3.1ポイントと増加している。
- ・生涯学習の内容では、「健康・スポーツ」が最も多く、次いで「趣味的なもの」「職業上必要な知識・技能」「パソコン・インターネットに関すること」となっている。
- ・市が力を入れるべきことでは、「施設の利用手続きの簡素化」が最も多く、次いで「指導者の確保・育成」「休日や夜間などの講座の充実」「学習・活動情報の提供」「大学など教育機関や企業との連携」となっている。

千葉県生涯学習情報提供システム（ちばりすネット）について

各市町村でお持ちの情報を「ちばりすネット」に登録をお願いします！

(1) 目的

県内の生涯学習に関する各種情報を、県・市町村・生涯学習関連施設などから収集し、インターネットを通して提供することで、いつでもどこでも生涯学習情報を入手できる環境をつくり、県民に対する生涯学習支援の一助とする。

(2) 提供する情報区分

- ア 講座・イベント情報
講座・講演・イベントなど学習の場の紹介
- イ 講師情報
講座・講演などの講師やボランティアとして活動されている方の紹介
- ウ 団体・サークル情報
各市町村の公民館などで活動しているグループ・サークルの紹介
- エ 施設情報
県内公立社会教育施設の紹介
- オ ボランティア情報
ボランティア関連の紹介

(3) 情報収集の対象

- ・ 県生涯学習・社会教育関連機関及び施設
- ・ 市町村生涯学習・社会教育関連機関及び施設
- ・ 大学等の高等教育機関
- ・ NPO及び社会教育団体等の民間団体 等

(4) 情報提供の方法

- ア オンライン直接入力 ※今夏、承認不要になる予定です
- イ 所定様式（エクセルデータ）による直接入力 ※今夏、実装予定です
- ウ 所定様式（エクセルデータ）による提供
- エ 各機関・施設の独自様式による提供

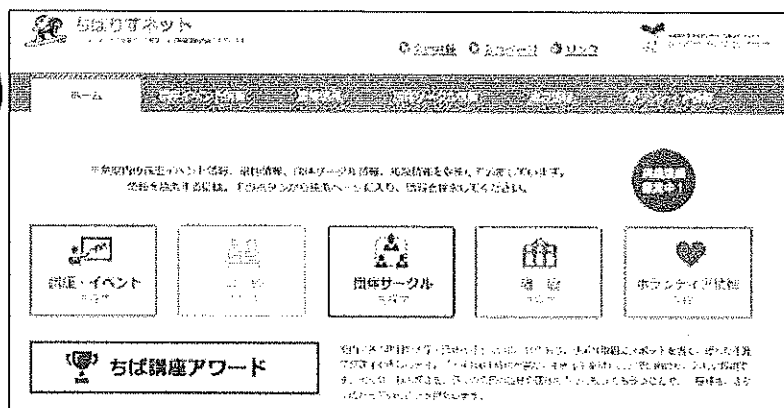
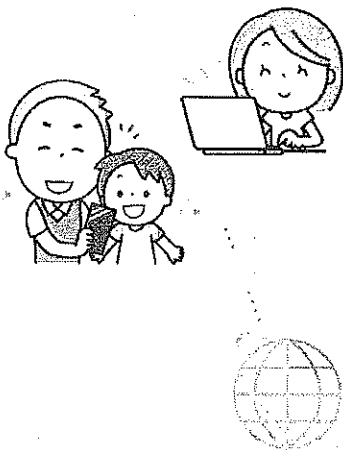
「ちばりすネット」で みんなの学びを応援します！

千葉県が運営する、県内の講座・イベント情報が丸ごと検索できる生涯学習のポータルサイトです。地域や日にち、ジャンルなどで絞り込み検索して、目的に合った情報を得ることができます。

講座・イベント情報の他にも、団体サークルを探したり、講師やボランティアなどを探したりすることもできます。

スマートフォン、パソコンから簡単に利用できます。下記QRコードおよびURLからアクセスをお願いします。

ちばりすネット URL <https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/clis-net/>



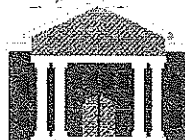
県・市町村



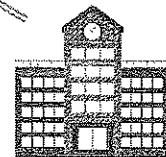
公民館等



図書館



博物館



大学等

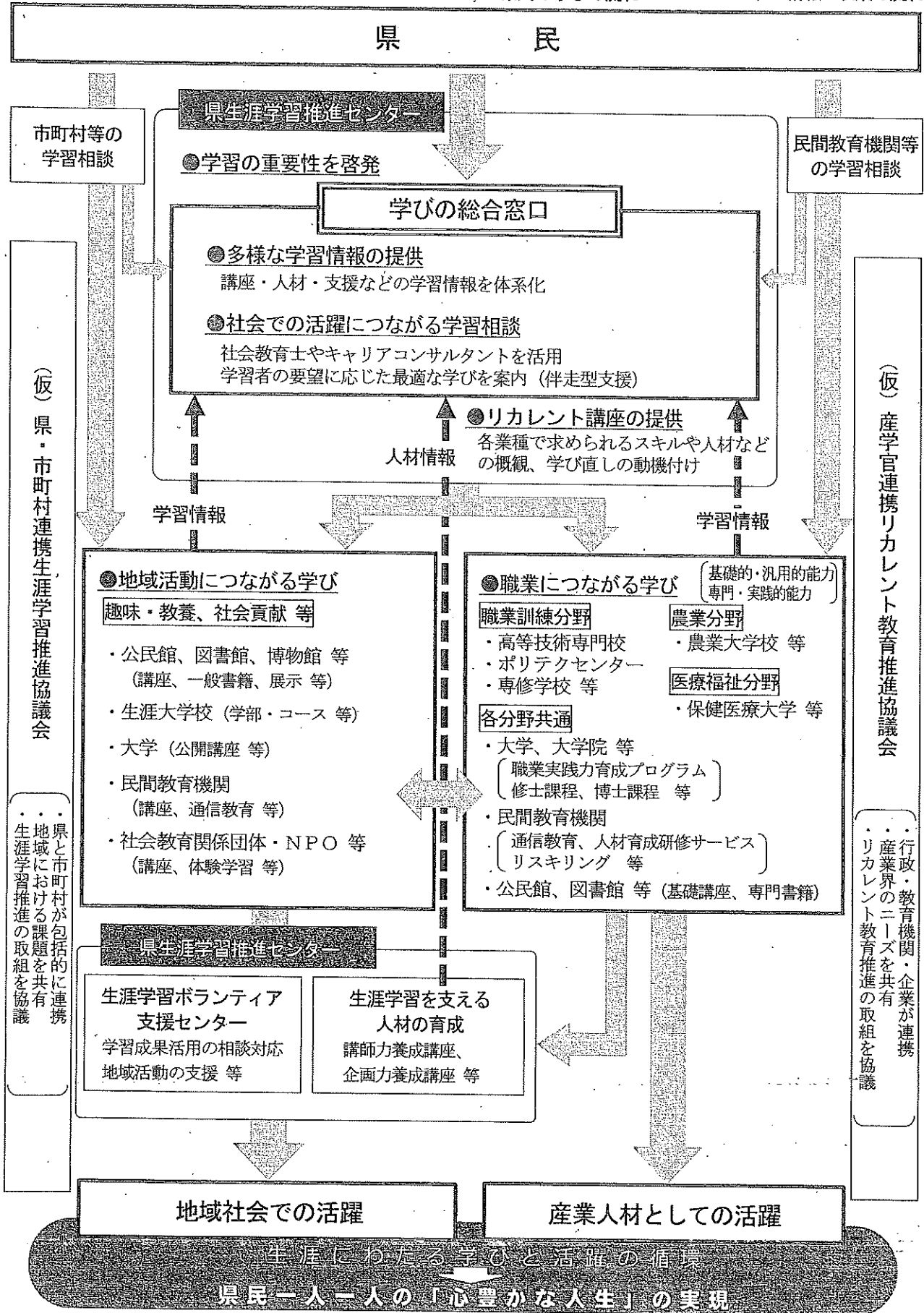
掲載情報を募集しています！
パソコン上で簡単に入力が可能で、
情報の追加や修正も簡単です。

問合せ先：さわやかちば県民プラザ
電話 04-7140-8611

学び直しによる生涯にわたる活躍イメージ

⇨ 県民の学びの流れ

⇨ 情報の収集の流れ



○ 第3次四街道市生涯学習推進計画のまとめの表記の仕方

具体的な取組について、簡潔にまとめました。

また、事業名の表記は市民にとっては馴染みがなく、事務事業評価のようないかなるため、あえて講座名等を列挙する枠を設け、親しみやすくしてみました。

このことにより、具体的な取組内容にも市民が興味を持っていたることを期待できると考えます。

基本方針1 学びの基礎づくり

各事業の具体的な取組

No.1

事業名	学校支援活動事業	担当課
具体的な取組	地域コーディネーターを配置し地域人材を活用した学校支援	
整理番号	(1) 地域教育力の向上	
	具体的な取組の概要	
	<p>①学校の求めに応じ、各小中学校に配置した地域コーディネーターが中心となり、学習支援、環境整備、交通安全等のボランティア等を募集し、学校の支援を行います。</p> <p>②事業説明や地域コーディネーター同士の意見交換、活動実践を共有する場として、地域コーディネーター会議を開催します。(年2回開催)</p>	社会教育課
	実施する事業・講座・教室など	
	地域コーディネーター会議、学校支援ボランティア等	
該当する視点	①②③	
指標	内容	目標値 (R10年度末)
	ボランティアの延べ年間活動日数	2800日
		3500日

○第4次四街道市生涯学習推進計画での活用方法

第4次計画(案1)
 推進すべき項目のチェック欄
 として活用
 例) アンケートの実施 ○・×等

第4次計画(案2)
 計画期間である5か年の目標を
 分かり易く